

平成24年度版

こころの健康センター所報

三重県こころの健康センター
(精神保健福祉センター)

目 次

I こころの健康センター概要

1 沿 革	1
2 業 務	1
3 施設の概要	3
4 組織及び職員構成	5
5 県内の市町と人口	6

II こころの健康センターの活動概要

1 技術指導・技術支援	7
2 教育研修	9
(1) 精神保健福祉研修会	
(2) 学生実習	
3 普及啓発	12
(1) 「平成23年度版こころの健康センター所報」の発行	
(2) こころの健康センター案内リーフレットの作成	
(3) 「こころのケアガイドブック」の改訂・発行	
(4) ホームページの更新・リニューアル	
(5) メールマガジンの発行	
(6) 講演活動	
4 精神保健福祉専門相談	21
(1) 専門電話相談	
(2) 専門面接相談	
(3) 全体の相談件数	
(4) こころの傾聴テレフォン	
5 組織育成・支援	28
(1) 家族会への支援	
(2) 精神保健福祉ボランティアへの支援	
(3) 当事者会・当事者グループへの運営支援	
6 薬物相談ネットワーク整備事業	30
(1) 依存症専門相談	
(2) 家族教室	
(3) 薬物フォーラム	
(4) NPO法人三重ダルクとの協働委託事業	

7	ひきこもり対策事業	33
	(1) ひきこもり専門相談	
	(2) 家族教室・家族交流会	
	(3) 講演会・研修会	
	(4) 関係機関との連携	
	(5) 普及啓発	
8	自殺対策事業	36
	(1) 自殺予防・自死遺族相談	
	(2) 自死遺族支援	
	(3) 講演会・研修会	
	(4) 普及啓発	
	(5) 関係機関との連携	
	(6) その他	
9	こころの健康危機管理事業	41
	(1) こころの健康危機管理研修会の開催（再掲）	
	(2) 「災害時こころのケア活動マニュアル〔暫定版〕」の作成・発行	
	(3) メールマガジンによる啓発	
10	精神医療審査会の審査に関する事務	43
	(1) 入院届・定期病状報告の審査	
	(2) 退院・処遇改善請求の審査	
11	精神障害者保健福祉手帳交付の判定及び承認事務	45
	(1) 24年度申請及び交付状況	
	(2) 手帳所持者の性・年齢別	
	(3) 手帳の所持者数（各年度末）	
12	自立支援医療費（精神通院医療）支給認定の判定事務	48
	(1) 24年度申請及び承認状況	
	(2) 自立支援医療費（精神通院医療）受給者証所持者数（各年度末）	
	(3) 受給者証所持者の性・年齢別	
13	その他	49
	(1) 心神喪失者等医療観察法関連	
	(2) 精神障がい者地域移行・地域定着支援事業への運営支援	
	(3) 三重県障害者自立支援協議会への支援	
	(4) こころの健康センター（精神保健福祉センター）機能検討会の実施	
III	三重県の精神保健福祉統計	51
	(1) 精神科病院	
	(2) 入院患者	
	(3) 精神障害者保健福祉手帳	
	(4) 自立支援医療費（精神通院医療）受給者証	

I. こころの健康センター概要

1 沿 革

三重県こころの健康センターは、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第6条の規定に基づいて設置された地域精神保健福祉活動の技術的中核機関である。

- 昭和61年5月 三重県津庁舎保健所棟1階（津市桜橋3丁目446-34）に開設され、保健環境部保健予防課の分室としてスタートする。
- 昭和63年10月 三重県久居庁舎（久居市明神町2501-1）の完成に伴い、同1階に移転。
- 平成元年4月 県健康対策課の地域機関として独立「三重県条例第5号」
- 平成11年8月 保険医療機関開設「三重県条例第5号の一部改正」
- 平成13年7月 三重県津保健福祉部久居支所の廃止に伴い支所跡に事務所移転（久居庁舎内）
- 平成20年4月 三重県津庁舎保健所棟2階（津市桜橋3丁目446-34）に移転。

2 業 務

こころの健康センターは「精神保健福祉センター運営要領」（健医発第57号厚生省保健医療局長通知、平成8年1月19日）に基づき、県内全域を管轄し次の業務を行っている。

(1) 企画立案

地域精神保健福祉を推進するため、県の精神保健福祉主管課及び関係機関に対し、専門的立場から社会復帰の推進方策や地域における精神保健福祉施策の計画的推進に関する提案、意見具申をする。

(2) 技術指導及び技術支援

地域精神保健福祉活動を推進するため、保健所、市町及び関係諸機関に対し、専門的立場から積極的な技術指導及び技術援助を行う。

(3) 教育研修

障がい相談者支援事業所、障がい福祉サービス事業所、医療機関、市町、保健福祉事務所、その他の関係機関等で精神保健福祉業務に従事する職員等に専門的研修を行い、人材の育成及び技術的水準の向上を図る。

(4) 普及啓発

精神保健福祉の知識、精神障がいについての正しい知識、精神障がい者の権利擁護等について普及啓発を行うとともに、保健所及び市町が行う普及啓発活動に対して専門的立場から協力、支援を行う。

(5) 精神保健福祉専門相談

精神保健及び精神障がい者福祉に関する相談及び指導のうち、複雑または困難なものを行う。このためセンターでは、「ひきこもり」「依存症」「自殺予防・自死遺族」の各専門相談を行う。また、相談指導を行うにあたり、必要に応じて関係諸機関の協力を求めるものとする。

(6) 組織育成・支援

地域精神保健福祉の向上を図るためには、地域住民による組織的活動が重要である。このため、センターは、県単位の家族会、当事者会、福祉サービス事業所連絡会等の育成支援に努める。

(7) 薬物相談ネットワーク整備事業

薬物相談依存症専門の対応ができる人材を育成するための研修や依存症問題家族教室を開催すると共に、センターの依存症相談機能を充実する。また、薬物相談ネットワークを構築することにより、薬物相談に総合的に対応する体制を整備する。

(8) ひきこもり対策事業

ひきこもりの問題に対し、当事者や家族が孤立することなく、必要な支援に結びつくことができるよう、ひきこもり相談ができる人材を育成するための研修やひきこもり・思春期問題家族教室を開催すると共にセンターのひきこもり専門相談機能を充実する。また、ひきこもり支援ネットワークを構築することにより、ひきこもり相談に総合的に対応する体制を整備する。

(9) 自殺対策事業

三重県の健康づくり総合計画「ヘルシーピープルみえ・21」において、こころの健康づくりを重要課題に位置づけており、自殺対策を中心にこころのケアに対する支援体制の整備を行う。

(10) こころの健康危機管理事業

こころの健康危機管理に対応できるよう、人材育成の研修を行うとともに、体制整備の支援を行う。

(11) 精神医療審査会の審査に関する事務

「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」第12条の規定により設置された精神医療審査会の開催事務及び審査会の審査に伴う調査に関する事務等当該審査会の審査に必要な事務を行う。また、同法第38条の4の規定による退院等の請求に関する審査に必要な事務を行う。

(12) 精神障害者保健福祉手帳の判定及び承認事務

「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」第45条第1項の規定による精神障害者保健福祉手帳の交付申請に関する判定業務及び承認業務を行う。

(13) 自立支援医療費（精神通院医療）支給認定の判定事務

「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」第53条第1項の規定による自立支援医療費（精神通院医療）の支給認定の申請に関する判定業務を行う。

(14) その他

- ① 心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律による地域社会における処遇について、地域精神保健福祉業務の一環として実施されるため、保護観察所等関係機関相互の連携を図り必要な支援を行う。
- ② 精神障がい者地域移行・地域定着支援事業が円滑に行われるように、広域的な視点から情報提供、助言、技術的研修を行う。

3 施設の概要

(1) 所在地

三重県津市桜橋3丁目446 34 三重県津庁舎津保健所棟2階

(2) 施設の状況

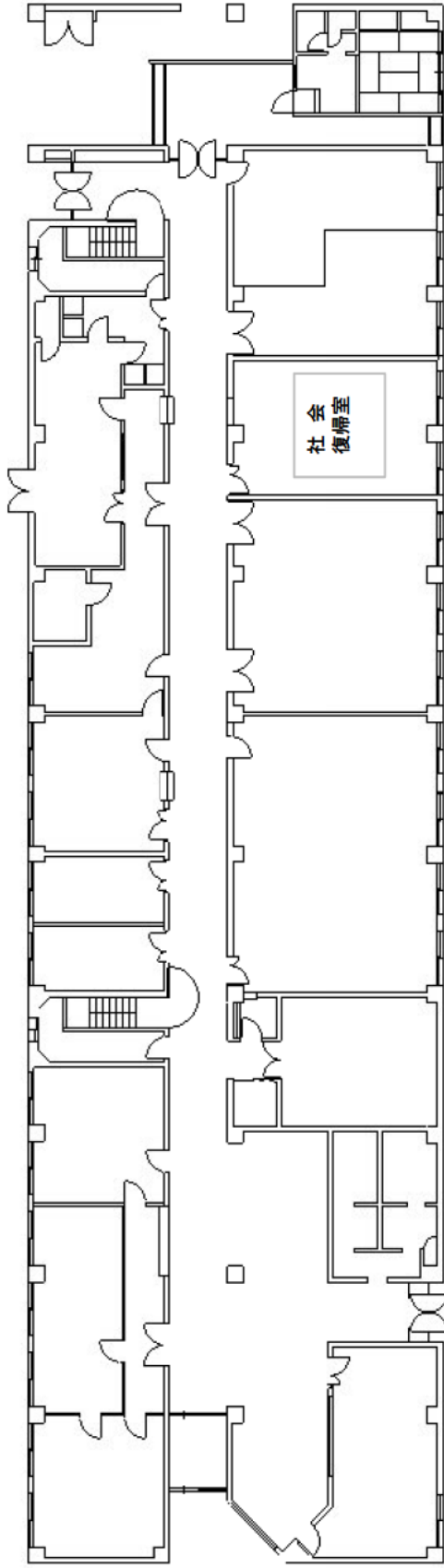
三重県津庁舎津保健所棟2階

ア	敷地面積（津庁舎）	23,879.63m ²
イ	建物面積（保健所棟）	延床面積 3,447.68m ²
ウ	建物構造（保健所棟）	鉄筋コンクリート造3階建
エ	各室面積	
	事務室（電話相談室）	110.63m ²
	事務・作業室	53.24m ²
	第1相談室（診察室）	29.12m ²
	第2相談室	24.00m ²
	第3相談室	23.68m ²
	図書資料室	38.40m ²
	ストレスケアルーム	38.40m ²
	地域交流室	19.20m ²
	倉庫	19.20m ²
	社会復帰室	50.97m ²
	各室面積	計 406.84m ²

三重県こころの健康センター平面図

(平成25年4月1日現在)

津庁舎1階(保健所棟)



津庁舎2階(保健所棟)



4 組織及び職員構成

(平成25年4月1日現在)

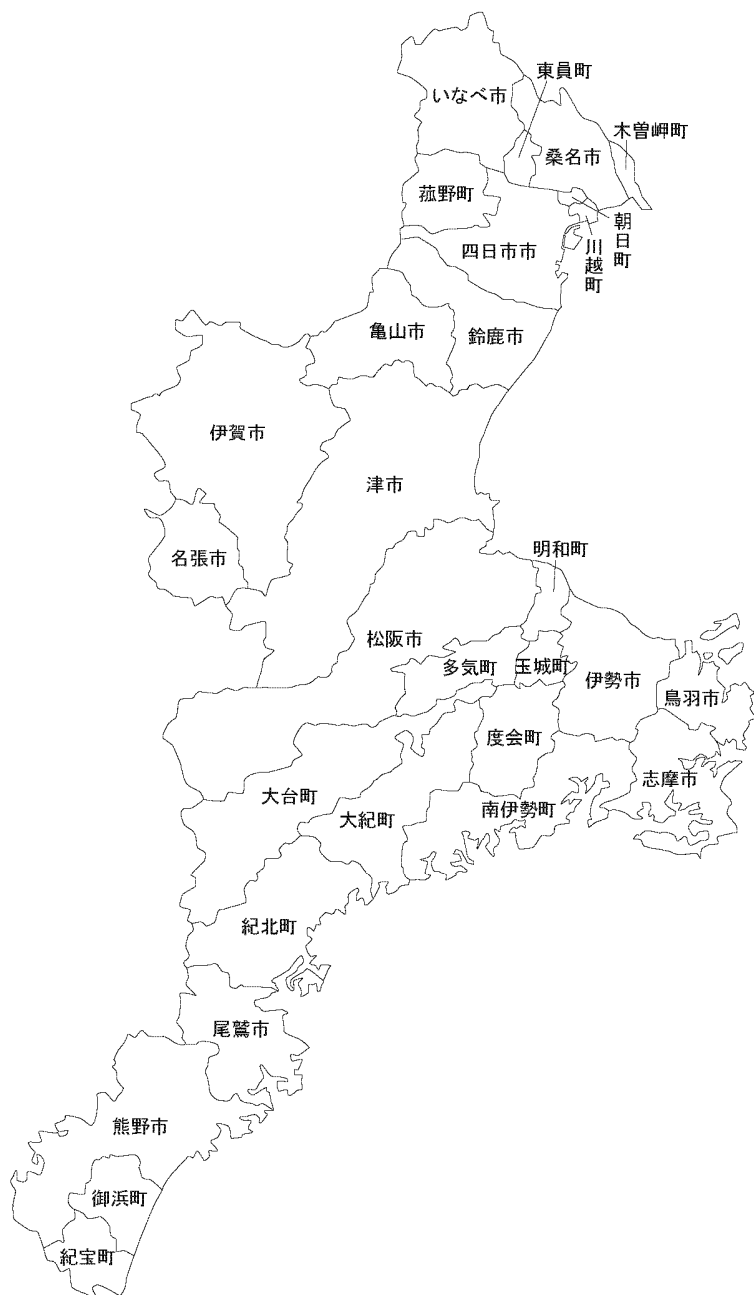
(1) 組織及び所掌事務

所長	審査総務課 (5名)	精神医療審査会に関すること 精神保健福祉手帳に関すること 自立支援医療費(精神通院医療)事務に関すること 庶務一般 予算・経理に関すること センター長会議等に関すること センター管理に関すること
	技術指導課 (6名) (嘱託医師)	精神保健福祉に関する技術指導・技術支援 教育研修の企画立案と実施 精神保健福祉に関する普及啓発 精神保健福祉専門相談 協力組織育成・支援に関すること 薬物相談ネットワーク整備事業 ひきこもり対策事業(ひきこもり地域支援センター) 自殺対策事業(自殺対策情報センター) こころの健康危機管理事業

(2) 職員構成

職 名	職 種	人 数
所 長	医 師	1
審査総務課長 (事務吏員)	一 般 事 務	1
専門監兼技術指導課長(技術吏員)	保 健 師	1
主 幹 (事務吏員)	一 般 事 務	1
主 幹 (技術吏員)	保 健 師	1
主 査 (事務吏員)	一 般 事 務	5
主 査 (技術吏員)	保 健 師	1
技 師 (技術吏員)	臨 床 心 理 技 術 者	1
嘱 託 員	自殺対策情報センター 支 援 員	(1)
嘱 託 員 (非常勤)	こころの傾聴テレフォン リ ス ナ ー	(17)
嘱 託 員 (非常勤)	医 師	(2)
計		12(20)

5 県内の市町と人口



市町名	総人口 (総数)
	H24.10.1 人
県 計	1,838,611
津 市	282,904
四 日 市 市	307,288
伊 勢 市 市	129,120
松 阪 市 市	167,095
桑 名 市 市	140,812
鈴 鹿 市 市	198,553
名 張 市 市	79,780
尾 鷲 市 市	19,130
亀 山 市 市	50,173
鳥 羽 市 市	20,591
熊 野 市 市	18,697
い な べ 市 市	45,640
志 摩 市 市	52,978
伊 賀 市 市	95,243
木 曾 岬 町	6,710
東 員 町	25,561
菰 野 町	40,250
朝 日 町	9,949
川 越 町	14,416
多 気 町	15,229
明 和 町	22,726
大 台 町	10,099
玉 城 町	15,282
度 会 町	8,533
大 紀 町	9,544
南 伊 勢 町	13,916
紀 北 町	17,858
御 浜 町	9,093
紀 宝 町	11,441

県統計課資料

Ⅱ. こころの健康センターの活動概要

1. 技術指導・技術支援
2. 教育研修
3. 普及啓発
4. 精神保健福祉専門相談
5. 組織育成・支援
6. 薬物相談ネットワーク整備事業
7. ひきこもり対策事業
8. 自殺対策事業
9. こころの健康危機管理事業
10. 精神医療審査会の審査に関する事務
11. 精神障害者保健福祉手帳の交付の判定及び承認事務
12. 自立支援医療費（精神通院医療）支給認定の判定事務
13. その他

1 技術指導・技術支援

平成22年度から業務分担制で技術指導、技術支援を実施している。

地域精神保健福祉活動を推進するため、保健所、市町、及び関係諸機関に対して、企画助言、情報提供、ケース援助、事例検討、研修会・研究会、連絡調整、委員会・会議等、精神保健福祉に関する技術指導・技術支援を行った。

また、年6回開催される精神保健福祉相談担当者会議で、保健所職員のスキルアップを図るために会議運営を行った。

(1) 表1 平成24年度関係機関への技術指導・技術援助 内容 (実施回数)

企画助言	情報提供	ケース援助	事例検討	研修会・研究会	連絡調整	委員会・会議	調査研究	その他	合計
27	19	5	24	49	1	51	1	11	188

(2) 表2 平成24年度関係機関への技術指導・技術援助 内訳 (延べ件数)

区分	内容										合計
	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	思春期	心の健康づくり	ひきこもり	自殺関連	犯罪被害	その他	
保健所		69	3	6	5	18	7	19		19	146
市町		28		6	3	15	5	23		9	89
福祉事務所				3				1			4
医療機関	2	40	1	6	3	15	3	19		23	112
介護老人保健施設											
障害者支援施設		6			1	1		1			9
社会福祉施設		5		1	1	1	2	1		1	12
その他	4	94	6	8	10	34	12	46	1	45	260
合計	6	242	10	30	23	84	29	110	1	97	632

(3) 保健所精神保健福祉相談担当者会議の運営状況

開催年月日	運営・協議の内容
平成 24 年 4 月 9 日	* センター取り組み、専門相談機能の紹介等
平成 24 年 6 月 11 日	* こころの健康センター事業の説明及び社会資源情報 * 保健所での事例検討会・危機に特化した会議の開催状況
平成 24 年 8 月 13 日	* 地域支援体制（ネットワーク）の整備 * 危機事例の検討
平成 24 年 10 月 17 日	* 自殺予防相談対応の手引き、 こころの健康危機管理マニュアルの検討 * 模擬事例検討①
平成 24 年 12 月 10 日	* 精神保健福祉ネットワークについて話し合い * 模擬事例検討②、③
平成 25 年 2 月 4 日	* 心神喪失者等医療観察法について意見交換 * 模擬事例検討④

※ 保健所(精神保健福祉相談担当者)、県障がい福祉課(精神保健福祉グループ)、こころの健康センター(技術指導課)が参加

(4) 「保健所における精神危機管理・危機対応ハンドブック」の改訂

精神危機管理・危機対応への支援のため、保健所精神保健福祉相談担当者会議で「危機対応」について議論を行い、担当者のスキルアップに努めた。

また、議論の内容・結果を「保健所における精神危機管理・危機対応ハンドブック」に取り入れ、改訂第2版を発行し、各保健所に配付した。

2 教育研修

(1) 精神保健福祉研修会

当センターの研修は、県内全域において障がい者相談支援事業所、障がい福祉サービス事業所、医療機関、市町、保健福祉事務所、その他の関係機関等で精神保健福祉業務に従事する職員などを対象に専門的研修を実施している。

①精神保健福祉基礎研修

県保健福祉事務所・市町・相談支援事業所・医療機関・事業所（施設）などで、精神保健福祉分野の業務に従事しておおむね3年未満の方（初任者向け研修会）。

実施日時・場所	内 容	受講者数
平成 24 年 5 月 11 日(金) 10:00～16:00 三重県人権センター 大セミナー室	精神保健福祉基礎研修【知識編】 講義 「精神保健福祉総論～歴史と理念～」 三重県こころの健康センター主幹 田中 裕子 講義 「精神保健福祉総論～施策と社会資源～」 三重県こころの健康センター主査 三上 政和 講義 「精神保健の基礎知識～理解と対応～」 三重県こころの健康センター所長 井上 雄一郎	59
平成 24 年 6 月 15 日（金） 10:00～16:00 三重県人権センター 中会議室	精神保健福祉基礎研修【技術編】 講義 「精神保健福祉相談の対応の基本」 障害者相談支援センターソシオ 管理者兼相談支援員 下方 宏明氏 講義・グループワーク 「精神保健福祉におけるケースワーク～事例をもとに～」 事例提供者 医療法人北勢会総合福祉部地域連携課 天春 卓也氏 志摩市障害者相談支援センターこだま 岡 昌史氏 四日市市保健所保健予防課 井倉 一政氏	49
合計(延べ人数)		108

②精神保健福祉専門研修

既に現場の経験がある現任者を対象とした研修

実施日時・場所	内 容	受講者数
平成 24 年 9 月 19 日 (水) 13:30～16:00 三重県人権センター 大セミナー室	講義 「支援を拒絶している人へのかかわり ～ACTプログラムにおける支援を通して～」 医療法人社団互啓会 ぴあクリニック精神保健福祉士 山田 創氏 ACTプログラム利用者 高橋 郁子氏	42
平成 24 年 10 月 25 日 (木) 13:30～16:00 津庁舎 大会議室	講義および事例検討 「パーソナリティ障がいを持つ人への支援 ～対象者との距離のとり方、巻き込まれない支援～」 講義 財団法人信貴山病院上野病院長 平尾 文雄氏 事例提供 障がい者総合相談支援センター そういん主任 東 日出男氏 こころの健康センター主幹 田中 裕子	66
平成 24 年 11 月 9 日 (金) 13:30～16:30 三重県人権センター 大セミナー室	講義 「精神保健福祉におけるリカバリー ～精神的困難を抱える人たちの 「真の回復」をめざした支援～」 三重県立看護大学 精神看護学准教授 船越 明子氏	30
合計(延べ人数)		138

③各事業の研修（詳細は各事業該当ページを参照）

- ・ 薬物相談ネットワーク整備事業:問題対策研修会・薬物フォーラム
- ・ ひきこもり対策事業：支援者スキルアップ研修会・ひきこもり講演会
- ・ 自殺対策事業：自殺対策シンポジウム・メンタルパートナー指導者養成研修・相談窓口担当者研修会

(2) 学生実習

三重大学医学部の学生を実習生として受け入れた。また、教育機関に赴き講義を実施した。

① 三重大学医学部学生

(実 習)

学 校 名	実施日数	受講者数
三重大学医学部医学科 1 年生	8	12
三重大学医学部医学科 5 年生	5	25

(講 義)

学 校 名	実施日数	受講者数
三重大学医学部医学科 5 年生	2	12
三重大学総合教育科目	2	121

3 普及啓発

(1) 「平成23年度版こころの健康センター所報」の発行

平成24年10月に350部を作成し、関係機関に配付した。

(2) こころの健康センター案内リーフレットの作成

センターの広報啓発のためにリーフレットを500部作成した。

(3) 「こころのケアガイドブック」の改訂・発行

三重県内の精神保健福祉に関する情報を集めた「こころのケアガイドブック」を改訂し、平成24年7月版1300部を作成、関係機関等に配付した。また、ホームページにも情報を掲載し、その都度変更を加えて最新情報の提供に努めた。

(4) ホームページの更新・リニューアル

アドレス <http://www.pref.mie.lg.jp/KOKOROC/HP/>

平成24年度は年間24回更新し、タイムリーな情報提供に努めた。

さらに、これまでのホームページの課題を踏まえ、センター・ホームページを三重県の精神保健福祉の総合的情報BOX「情報貯金箱」とすることをめざして、また、利用者が見たい情報、探したい情報をワンクリックで検索出来るように利便性を高めた。

サポートしますこころの健康
三重県こころの健康センター
(精神保健福祉センター)

サイト内検索 検索

トップページ | 自殺対策情報センター | ひきこもり地域支援センター | 依存症関連情報 | こころのケアガイドブック | リンク集

こころの健康センターのご紹介

三重県こころの健康センターのご紹介

こころの健康センター(精神保健福祉センター)とは、こころの健康づくりや精神障がい者の社会参加の促進など、精神保健福祉活動を支援する機関です。

[自殺予防週間・自殺対策強化月間](#)

[自殺予防のための行動](#)

[災害時のこころのケア](#)

[こころの健康危機管理研修](#)

[大規模災害時の心理的支援](#)

[惨事ストレス対策](#)

[「こころのケア」](#)

こころの健康センター主催の講演会・研修会のご案内

ワンクリックで検索

- [精神保健福祉基礎研修](#)
- [精神保健福祉専門研修](#)
- [メンタルパートナー指導者養成研修](#)
- [自殺対策に関する研修会](#)
- [自死遺族支援研修](#)
- [自殺対策シンポジウム](#)
- [薬物フォーラム](#)
- [依存症講演会](#)
- [ひきこもり支援者スキルアップ研修](#)
- [ひきこもり講演会](#)
- [こころの健康危機管理研修](#)

ここからもワンクリックで検索
出来るようになりました。

審査・自立支援医療・手帳	各事業・業務のページ	
精神医療審査会	依存症関連情報	ひきこもり地域支援センター
自立支援医療(精神通院医療)	<ul style="list-style-type: none"> 依存症問題家族教室 薬物フォーラム 研修会・講演会 	<ul style="list-style-type: none"> ひきこもりQ&A ひきこもり家族教室 ひきこもり講演会 ひきこもり支援者スキルアップ研修会
精神障害者保健福祉手帳	三重県自殺対策情報センター	
精神保健福祉研修	<ul style="list-style-type: none"> メンタルパートナーのひろば メンタルパートナー指導者養成研修 自殺対策に関する研修会 自死遺族支援研修 	<ul style="list-style-type: none"> 自殺対策シンポジウム 自死遺族の方へ(わかちあいの会のご案内) 自殺予防週間・自殺対策強化月間 あなたにもできる自殺予防のための行動
精神保健福祉基礎研修	審査・自立支援医療・手帳	災害時のこころのケア
精神保健福祉専門研修	<ul style="list-style-type: none"> 精神医療審査会について 自立支援医療(精神通院医療) 精神障害者保健福祉手帳 	<ul style="list-style-type: none"> こころの健康危機管理研修 大規模災害時の心理的支援 惨事ストレス対策 「こころのケア」(センターパンフレット)
こころのケアガイドブック		
診療機関編(1)		
診療機関編(2)		
診療機関編(3)		
相談窓口(1)		

(5) メールマガジンの発行

平成22年度から当センターの業務内容や精神保健福祉に関する情報を関係機関に紹介するために、メールマガジン「センターだより『こころの健康』」を発行した。平成24年度は第9号から第12号まで計4回発行し、当センターのホームページにも掲載した。

	発行月	内 容
第 9 号	7 月	<ul style="list-style-type: none"> 特集：相談員レポート「ひきこもり・依存症専門電話相談の実際」 自殺対策情報センター～開設から1年が経ちました～ 連載コラム「災害とこころのケアーその5『マスコミ・報道への対応』」
第 10 号	10 月	<ul style="list-style-type: none"> 特集：相談員レポート「自殺予防・自死遺族電話相談の実際」 自殺対策情報センター～「自殺予防週間の取り組み」～ 連載コラム「災害とこころのケアーその6『こころの健康危機管理研修の報告(前編)』」
第 11 号	12 月	<ul style="list-style-type: none"> 特集：研修会報告 自殺対策情報センターからのお知らせ 連載コラム「災害とこころのケアーその6『こころの健康危機管理研修の報告(後編)』」
第 12 号	3 月	<ul style="list-style-type: none"> 特集：「精神医療審査会」とは 自殺対策情報センターからのお知らせ「3月は自殺対策強化月間です！！」 連載コラム「災害とこころのケアーその7『支援者や周囲の人々が気をつけること』」 センター掲示板

(6) 講演活動

精神保健に関する知識の普及・啓発を目的とし、関係機関からの要請により講演活動を実施している。24年度の講演活動は、53回で対象は1,739名であった。

1) 保健所

年月日	名称・テーマ	実施主体	対象	人数	対応者
平成 24 年 5 月 30 日	伊勢保健福祉事務所 危機ネットいせ 「精神保健福祉相談における関係機関 の役割と危機対応について」	伊勢保健 福祉事務所	保健所・市町・警 察・消防職員、精 神科病院職員、相 談支援事業所職 員、障がい福祉サ ービス事業所職 員等	43	精神保 健福祉 士
平成 24 年 8 月 6 日	メンタルパートナー指導者養成研修	四日市市保 健所	県・市町の保健師 等	34	保健師
平成 24 年 8 月 31 日	メンタルパートナー指導者養成研修	桑名保健福 祉事務所	保健所・管内市町 担当者、企業職員 等	25	保健師
平成 24 年 10 月 16 日	伊賀地域精神保健福祉連絡協議会 「ア ルコール依存症について」	伊賀保健 福祉事務所	保健所・市職員、 警察職員、障がい 福祉サービス事 業所職員、民間団 体等	24	保健師
平成 24 年 10 月 29 日	尾鷲保健所管内こころの健康危機管理 研修「災害時のこころの健康危機管理に ついての基本的な対応と心構え」	尾鷲保健 福祉事務所	保健所、管内市町 保健師	13	保健師
平成 24 年 10 月 29 日	四日市市こころの健康講座 「うつ病などのこころの病について」	四日市市保 健所	一般市民	113	医師
平成 24 年 11 月 22 日	第 3 回ママ元気ネットワーク会議 「産前産後の精神疾患の基礎知識と育 児支援について」	津保健 福祉事務所	ネットワーク会 議会員	50	医師
平成 24 年 12 月 13 日	平成 24 年度自殺対策支援者スキルアッ プ研修会「自殺予防相談対応の手引きの 活用について」	尾鷲保健 福祉事務所	保健所、管内市町 職員、関係団体等	45	保健師

平成 25 年 1 月 28 日	津保健所管内母子保健研修会「障がい児を持つ家族の理解と支援 メンタルヘルスの視点から」	津保健 福祉事務所	保健所、市町、産科、小児科スタッフ等	45	医師
平成 25 年 2 月 6 日	熊野保健所 精神保健福祉支援者研修会「長期ひきこもり者への支援について～特に思春期への対応～」	熊野保健 福祉事務所	熊野保健福祉事務所管内で精神保健福祉に関わる支援者	22	医師

2) 市町

年 月 日	名 称 ・ テ ー マ	実施主体	対 象	人 数	対 応 者
平成 24 年 5 月 21 日	第 1 回津市精神保健福祉検討会(こころ・シロモチカンファレンス)「電話・窓口対応における初期対応について」	津市・津保健 福祉事務所	津市保健師、津 保健福祉事務所 保健師	20	心理士
平成 24 年 7 月 12 日	伊勢市健康文化週間における啓発事業 「ストレスとの上手な付き合い方」	伊勢市健康福 祉部健康課	一般市民	31	保健師
平成 24 年 7 月 17 日	第 2 回津市精神保健福祉検討会(こころ・シロモチカンファレンス)「うつ病を理解する」	津市、津保健 福祉事務所	津市保健師、津 保健福祉事務所 保健師	18	医師
平成 24 年 7 月 20 日	紀宝町こころの健康づくり研修会「こころの健康づくりについて～傾聴の方法～」	紀宝町健康づ くり推進課	保健活動推進 員、心の健康づ くり推進員(リ スナー)等	30	心理士
平成 24 年 8 月 1 日	熊野市こころの健康づくり研修会「人格 障害の基礎と支援のポイント」	熊野市健康・ 長寿課	保健・福祉関係 担当者等	40	医師
平成 24 年 8 月 10 日	熊野市こころの健康づくり研修会「産前 産後のメンタルヘルスの基礎と支援の ポイント」	熊野市健康・ 長寿課	関係機関保健 師・看護師・児 童相談者等	15	医師

平成 24 年 9 月 5 日	紀宝町第 2 回こころの健康づくり研修 会(兼被災者のこころのケア研修会)「こ ころの病気について」	紀宝町健康づ くり推進課	こころの健康づ くり支援員、リ スナー継続研修 者、被災者のこ ころのケア支援 員	58	医師
平成 24 年 9 月 11 日	伊勢市健康文化週間における啓発事業 「うつ病について」	伊勢市健康福 祉部健康課	一般市民	70	医師
平成 24 年 9 月 12 日	伊勢市職員メンタルヘルス研修「職場の メンタルヘルス」「メンタルパートナー 養成研修」	伊勢市総務部 職員課	伊勢市職員	86	医師 保健師
平成 24 年 9 月 25 日	大台町傾聴ボランティア養成講座「メン タルヘルスの基礎知識」	大台町町民福 祉課	傾聴ボランティ アを志す住民	16	医師
平成 24 年 10 月 9 日	大台町傾聴ボランティア養成講座「傾聴 について」	大台町町民福 祉課	傾聴ボランティ アを志す住民	16	心理士
平成 24 年 11 月 5 日	伊賀市こころの健康教室「こころの病の 基礎知識」	伊賀市健康推 進課	一般市民	65	心理士
平成 24 年 12 月 17 日	伊賀市こころの健康教室「自殺予防の現 状と対策、地域や私たちができる取組に ついて」	伊賀市健康推 進課	一般住民	20	保健師

3) 福祉機関

年 月 日	名 称 ・ テ ー マ	実施主体	対 象	人 数	対 応 者
平成 24 年 6 月 21 日	施設内研修「精神保健福祉の社会資源と ネットワーク」	社会福祉法人 伊賀昂会	施設職員	28	精神保 健福祉 士

4) 教育機関

年月日	名称・テーマ	実施主体	対象	人数	対応者
平成 24 年 6 月 29 日	三重大学医学部講義「精神保健福祉センターの業務、自殺予防について」「メンタルパートナー養成研修」	三重大学医学部精神神経教室	三重大学医学部 5 年生	6	医師
平成 24 年 10 月 19 日	三重大学共通科目・総合教育科目授業「地域のメンタルヘルス」	三重大学保健管理センター	三重大学学生、保健管理センター職員	60	医師
平成 24 年 10 月 26 日	三重大学医学部講義「自殺予防について」講義「メンタルパートナー養成研修」	三重大学精神医学講座	三重大学医学部 5 年生	6	医師
平成 24 年 11 月 16 日	三重大学共通科目講義「大学生と自殺」「メンタルパートナー養成研修」	三重大学保健管理センター	三重大学医学生、教職員	61	医師
平成 25 年 1 月 23 日	三重県教育委員会第 9 回全体会メンタルヘルス研修「教職員のメンタルヘルス、学校における自殺予防、子供たちの置かれている状況や自殺のサインについて」	三重県教育委員会研修企画・支援課	研修企画・支援課職員及び研修指導課教職員等	44	保健師

5) その他

年月日	名称・テーマ	実施主体	対象	人数	対応者
平成 24 年 4 月 2 日	こころのボランティア三重でのひら総会 講義「当事者への対応について」	こころのボランティア三重でのひら	でのひら会員等	9	精神保健福祉士
平成 24 年 5 月 10 日	平成 24 年度産業保健研修会「職場で出来る自殺予防」	三重県産業保健推進センター	産業医、保健師監督署職員、人事労務担当者、事務局等	15	医師
平成 24 年 5 月 29 日	久居病院院内研修「精神保健福祉法と人権」「メンタルパートナー養成研修」	久居病院	病院職員	55	医師

平成 24 年 5 月 31 日	三家連家族相談会振り返り会「傾聴研修」	三重精神保健 福祉会	三家連相談員等	10	心理士、 精神保 健福祉
平成 24 年 6 月 12 日	久居病院院内研修「精神保健福祉法と人権」「メンタルパートナー養成研修」	久居病院	病院職員	57	医師
平成 24 年 6 月 14 日	産業保健研修会「職場におけるパーソナリティ障がいの理解と対応」	三重産業保健 推進センター	産業医、保健師 監督署職員、人 事労務担当者、 事務局等	20	医師
平成 24 年 7 月 6 日	メンタルヘルスパートナー指導者養成 研修	全国健康保険 協会三重県支 部	全国健康保険協 会三重県支部に 所属する保健師 等	21	保健師
平成 24 年 7 月 18 日	奈良医大精神科老年期グループ勉強会 「老年期と自殺、認知症患者の自殺予測 因子など」	奈良医大精神 医学教室 老 年期グループ	奈良医大精神科 医局員	7	医師
平成 24 年 7 月 21 日	三重いのちの電話 8 期生ボランティア 相談員養成講座「うつ病の理解と対応」	三重いのちの 電話協会	ボランティア相 談員志望者、ス タッフ等	30	医師
平成 24 年 8 月 1 日	平成 24 年度「三重県相談支援従事者初 任者研修」	三重県障害者 相談支援セン ター	相談支援事業所 等の初任者、フ ァシリテーター 、事務局等	85	精神保健 福祉士
平成 24 年 8 月 23 日	産業保健研修会「職場における認知症の 理解と対応」「メンタルパートナー養成 研修」	三重産業保健 推進センター	産業医、医師、 介護福祉士、就 労支援員等	19	医師
平成 24 年 8 月 30 日	産業保健研修会「職場における典型的で はないうつの理解と対応について」	三重産業保健 推進センター	産業医、医師、 保健師、就労支 援員、衛生管理	17	医師
平成 24 年 9 月 20 日	産業保健推進研修「職場における発達障 がいの理解と対応」「メンタルパートナ ー養成研修」	三重産業保健 推進センター	産業医、医師、 産業保健スタッ フ、衛生管理等	25	医師

平成 24 年 10 月 10 日	平成 24 年度三重県相談支援従事者初任者研修（後半日程）	三重県障害者相談支援センター	相談支援事業所等の初任者、ファシリテーター、事務局	85	精神保健福祉士
平成 24 年 11 月 8 日	産業保健研修「職場におけるパーソナリティ障がいの理解と対応」「メンタルパートナー養成研修」	三重産業保健推進センター	産業医、医師、保健師、看護師	9	医師
平成 24 年 11 月 10 日	三重県介護支援専門員協会伊賀支部定例研修会「高齢者の自殺予防～自殺の現状・要因・兆候、支援者として心がけること～」	三重介護支援専門員協会伊賀支部	伊賀市・名張市の介護支援専門員	16	保健師
平成 24 年 11 月 20 日	石川県相談支援専門員協会・金沢保護観察所主催 講演・情報交換会「医療観察法の対象者への地域移行支援～三重県での取り組みを通して～」	石川県相談支援専門員協会・金沢保護観察所	石川県内の関係者	59	精神保健福祉士
平成 24 年 12 月 17 日	障害者相談支援センター所内研修会「精神疾患の特性と相談対応の留意点について」	三重県障害者相談支援センター	障害者相談支援センター職員	18	精神保健福祉士
平成 24 年 12 月 19 日	メンタルパートナー指導者養成研修	三重産業保健推進センター	メンタルヘルス対策センターメンタルヘルス促進員	10	保健師
平成 24 年 12 月 20 日	産業保健研修会「職場における認知症の理解と対応について」「メンタルパートナー養成研修」	三重産業保健推進センター	医師、産業医	7	医師
平成 25 年 1 月 17 日	メンタルパートナー指導者養成研修	N T N 桑名製作所	N T N 桑名製作所及び関連会社の社員、管理職等	24	保健師
平成 25 年 1 月 22 日	メンタルパートナー指導者養成研修	N T N 桑名製作所	N T N 桑名製作所及び関連会社の職員、管理職等	21	保健師

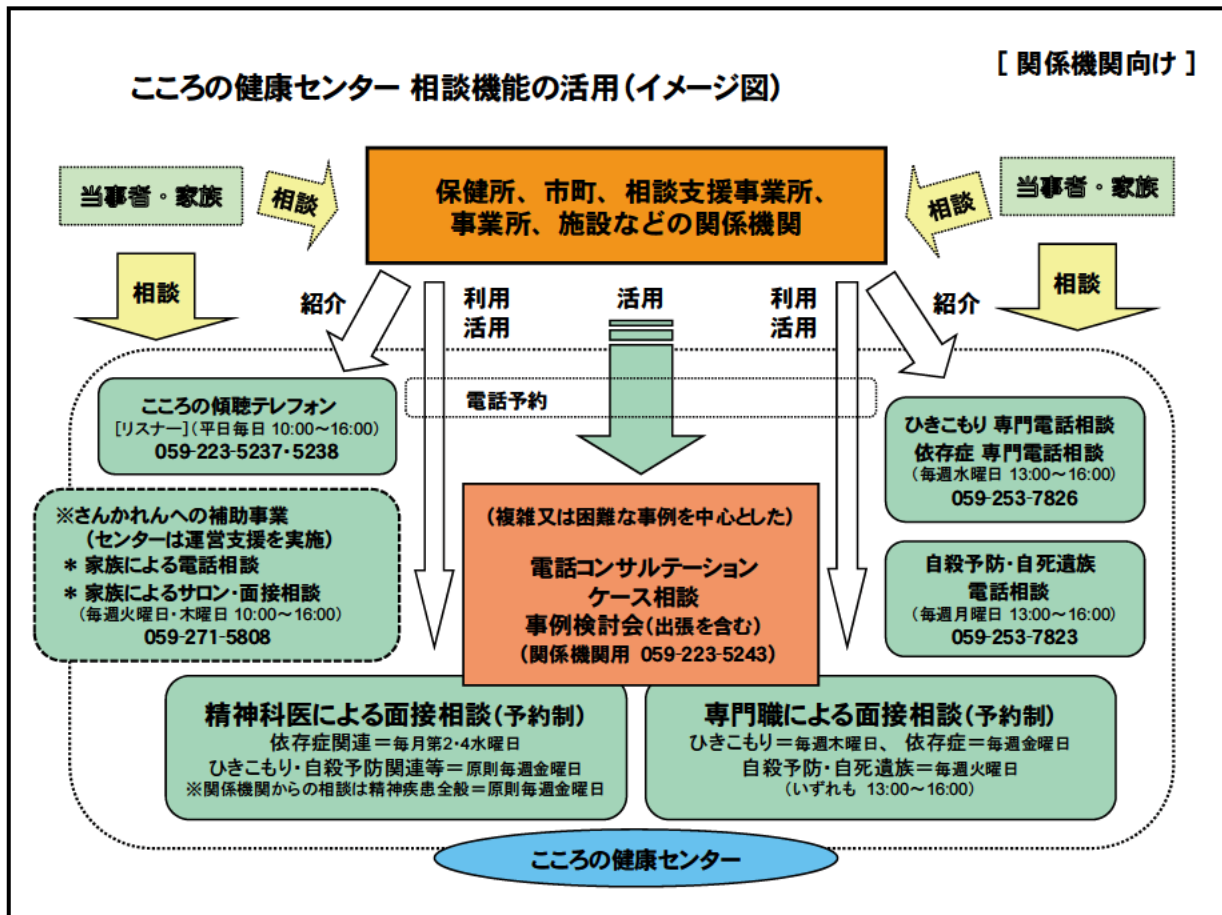
平成 25 年 1 月 24 日	産業保健研修「職場における発達障害の理解と対応」「メンタルパートナー養成研修」	三重産業保健推進センター	産業医、保健師	8	医師
平成 25 年 2 月 21 日	産業保健研修会「職場における非典型的なうつの理解と対応について」「メンタルパートナー養成研修」	三重産業保健推進センター	医師、産業医、 看護師	8	医師

4 精神保健福祉専門相談

こころの健康センターでは、県民から幅広く相談を受ける「精神保健福祉相談」を実施してきたが、電話相談の大部分は他の相談機関でも対応が容易な「一次的な相談」で占められており、精神保健福祉センターの専門性を活かした機能・役割が十分に発揮されているとは言い難い状況であった。

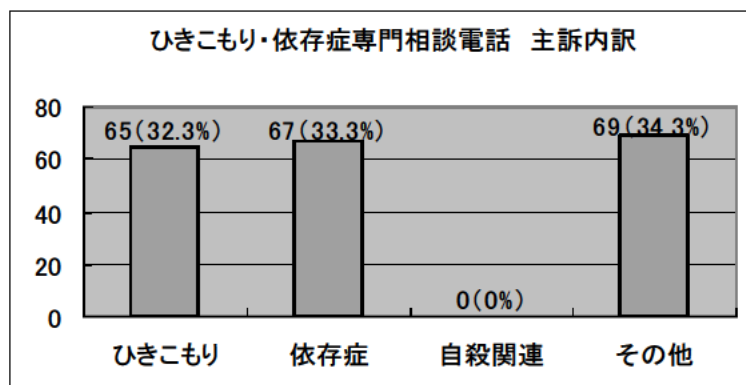
そのため、平成22年度に県の役割を踏まえた精神保健福祉センターの相談支援体制のあり方について、所内に検討会を設置して1年間に及ぶ検討を行った。その結果、精神保健福祉センターに求められている「複雑又は困難な相談」に対応するため、これまでの相談支援体制を全面的に見直して、専門相談を中心とした新たな相談支援体制を構築し、平成23年度から実施している。

※ 平成23年4月1日からの相談機能（一部修正）



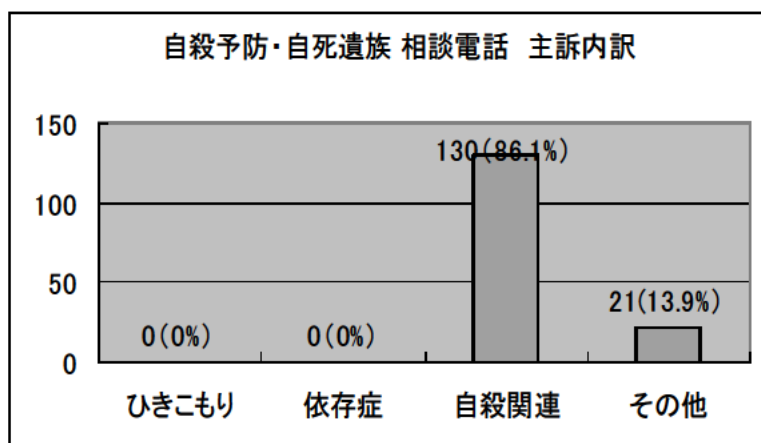
(1) 専門電話相談

① ひきこもり・依存症 専門電話相談 (毎週水曜日 13:00~16:00)



- ★ 開設日数 50日
- ★ 相談件数 201件
- ★ 1日平均 4.0件
(専門相談 3時間中)

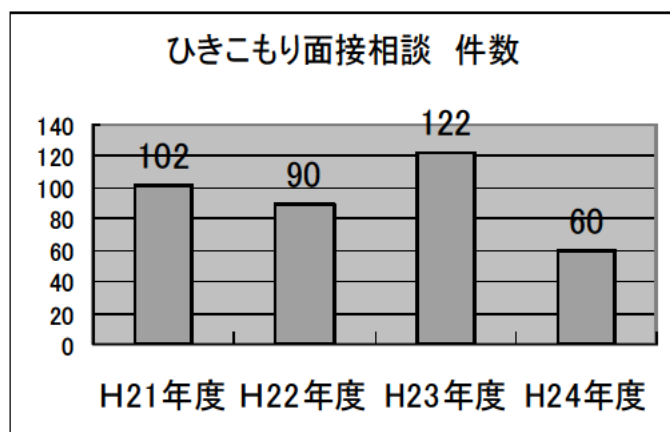
② 自殺予防・自死遺族 電話相談 (毎週月曜日 13:00~16:00)



- ★ 開設日数 52日
- ★ 相談件数 151件
- ★ 1日平均 2.9件
(専門相談 3時間中)

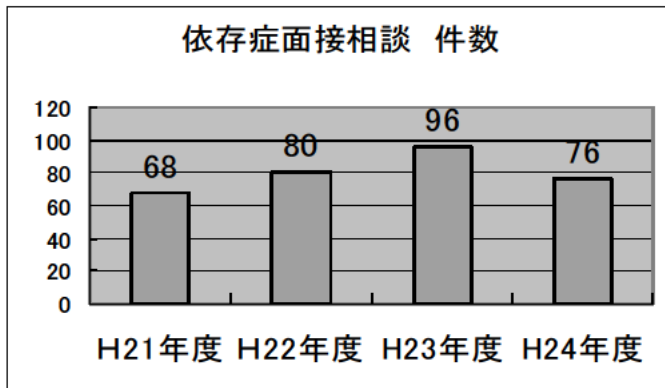
(2) 専門面接相談

① ひきこもり面接相談 (毎週木曜日)



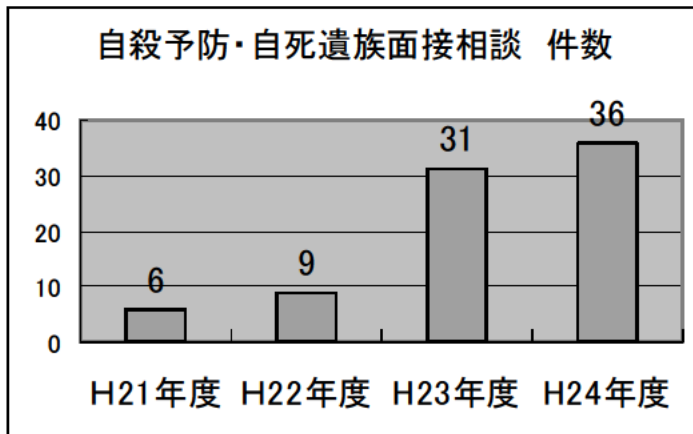
- ★ H21、22年度は「精神保健福祉相談」のうち、内容が「ひきこもり」の数
- ★ 主訴がひきこもり以外のものを含む、ひきこもり相談全件数

② 依存症面接相談（毎週金曜日）



- ★ H21、22年度は「精神保健福祉相談」のうち、内容が「嗜癖（依存症）」の数
- ★ 主訴が依存症以外のものを含む、依存症相談全件数で比較している

③ 自殺予防・自死遺族面接相談（毎週火曜日）



- ★ H21、22年度は「精神保健福祉相談」のうち、内容が「自殺関連」の数
- ★ 主訴が自殺関連以外のものを含む、自殺予防・自死遺族相談全件数で比較している

(3) 全体の相談件数

表1 平成24年度 来所相談件数の経路

区 分	実人数	(再 掲) 新規者の受付経路			
		保健所	市町村	医療機関	その他
計	77	4	3	3	59

表2 平成24年度来所・電話相談件数の詳細

区 分	実人数	(再 掲) 相 談													
		延 人 数										計の再掲			
		老 人 精 神 保 健	社 会 復 帰	ア ル コ ー ル	薬 物	思 春 期	心 の 健 康 づ く り	う つ ・ う つ 状 態	そ の 他	計	ひ き こ も り	発 達 障 害	自 殺 関 連	自 殺 者 の 遺 族	犯 罪 被 害
来所相談 数	77	0	38	20	18	3	4	26	78	187	60	3	36	19	0
電話によ る相談	—	3	102	19	14	30	3	120	142	433	79	6	173	22	0

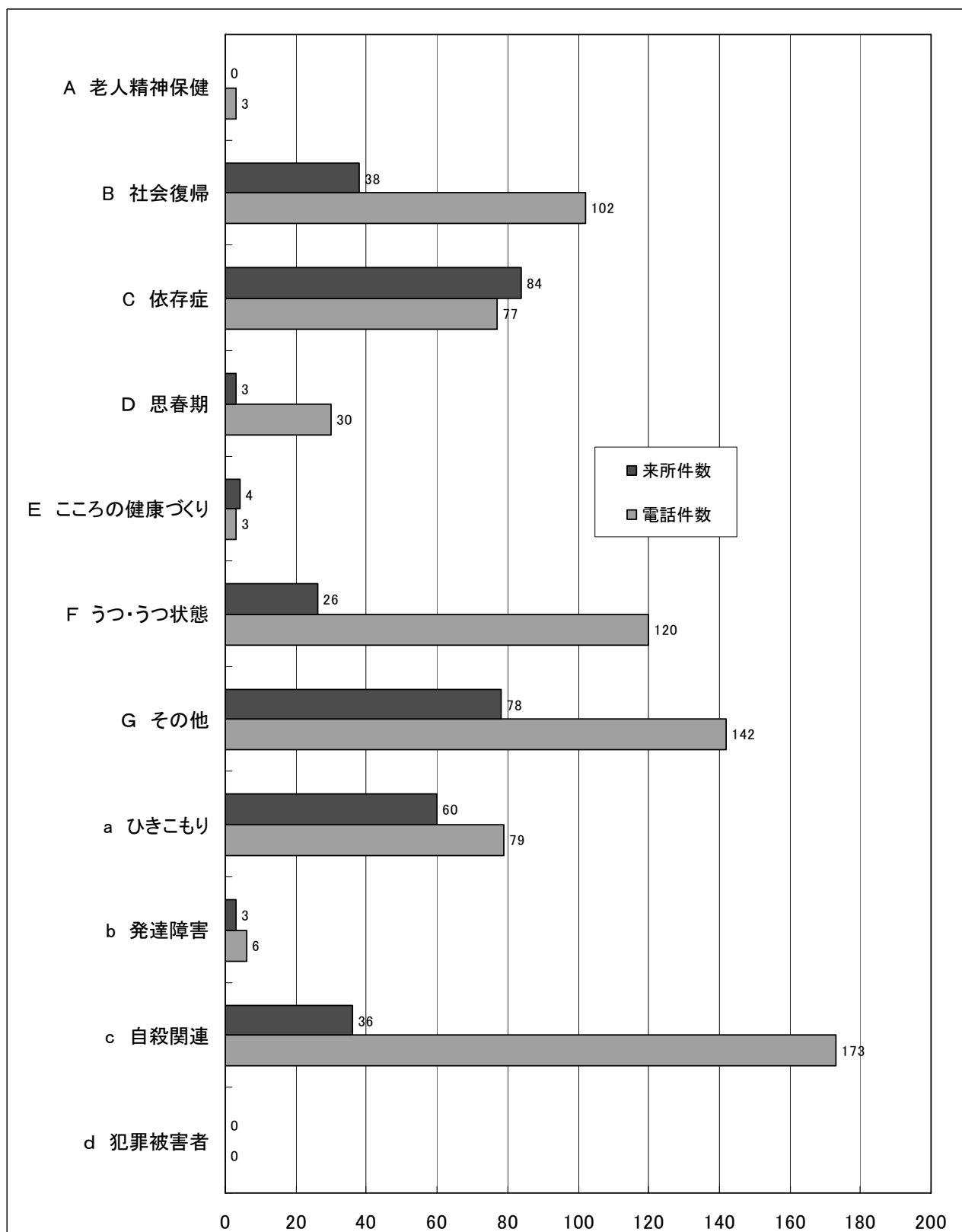
表3 相談者別相談件数

	H19	H20	H21	H22	H23	H24
来所相談	316 (124)	373 (146)	278 (134)	230 (97)	281 (61)	187 (77)
電話相談 *関係者からの相談含む	1492	1600	1487	1453	497	433

() は新規数

※ 平成23年度から専門相談の件数

図3 精神保健福祉相談（来所・電話）の相談内容別延べ件数



※この件数は当センターで受けた全相談件数であり、専門相談日以外にセンターで相談を受けた件数も含む。

※Cの依存症相談件数は、Gその他からアルコール、薬物以外の依存症の相談（再掲）を加えて計上した。

特定専門相談

〈思春期・ひきこもり相談〉

思春期は、中学生から大学生までの実年齢（13歳～22歳）を考えている。

延べ来所相談数は思春期3件、ひきこもり60件であった。

〈アルコール相談〉

アルコール相談の延べ来所相談は20件であった。

飲酒運転問題・自殺問題・職域メンタルヘルス等の今日的な課題から、アルコール問題への関心が高まっているため、今後相談件数が増加していくことが予想される。

(4) こころの傾聴テレフォン

経緯

平成13年度、こころの健康センターでは青年期・中壮年期におけるこころのケア実態調査を行った。この結果、メンタルヘルスに関する普及啓発、教育研修機能の強化、地域で気軽に相談できる体制づくりと関係者のネットワーク化が望まれていることが明らかになった。このことから、三重県の健康づくり総合計画「ヘルシーピープルみえ21」の中で、メンタルヘルスが中心課題のひとつと位置づけられた。また、これに沿って、平成14年度から「傾聴できる人・身近で話を聴くことのできる人」としての『リスナー』の養成がなされてきた。

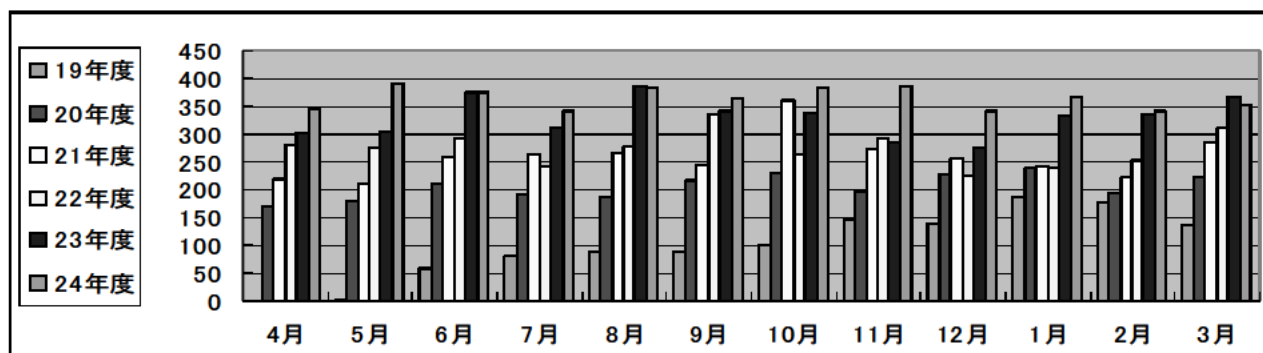
平成19年度より、リスナー養成の目的に沿った「身近にある、話を聴く窓口」となることを目指して「こころの傾聴テレフォン」が開設され、リスナーによる電話受付を開始することになった。

傾聴テレフォン着信状況（平成19年5月28日～平成25年3月31日）

総件数

平成19年度（平成19年5月28日～）	1,203件
平成20年度	2,465件
平成21年度	3,103件
平成22年度	3,284件
平成23年度	3,956件
平成24年度	4,376件

図1 月別件数



平成19年度からの月別の通話件数は次のとおりである。

表1 月別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
19年度		2	57	81	88	88	100	148	140	185	178	136
20年度	169	181	210	191	187	217	230	197	228	238	194	223
21年度	220	212	259	263	267	244	362	271	256	243	221	285
22年度	281	275	291	242	277	337	265	291	224	238	253	310
23年度	303	306	376	310	385	343	338	286	275	333	335	366
24年度	345	392	374	343	384	363	383	387	342	367	342	354

5 組織育成・支援

(1) 家族会への支援

① 三重県精神保健福祉会（さんかれん）

昭和44年8月に病院家族会「いすず会」が中心になり、「三重県精神障害者家族会連合会（三家連）」が設立された。社会資源がほとんどない時代から現在に至るまで、精神障がい者の社会復帰を目指した活動・取り組みを継続して行っている。

平成18年4月にはNPO法人化され「三重県精神保健福祉会（さんかれん）」となった。

平成21年度からは住宅保証人制度や就業支援に、平成23年度からは「家族のための家族相談（電話・面接・サロン）」や家族相談員研修会にも取り組んでいる。

② 家族会（地域、病院、施設）

「さんかれん」の会員となっている県内の家族会は、地域家族会12箇所、病院家族会3箇所、施設家族会2箇所であり、それぞれの地域で活動を行っている。

【支援状況】

センターでは「さんかれん」運営への支援を随時実施するとともに、各種大会・研修会への参加を通じて、家族会への支援を行っている。

内 容	参加・支援回
「さんかれん」への運営支援・家族相談への支援	随時
家族相談振り返り会への参加・運営支援	10回
理事会・総会・拡大部会への参加	2回
家族ブロック大会等の実行委員会への参加・支援	8回
バレーボール大会等のイベント・準備会等への支援	3回

(2) 精神保健福祉ボランティアへの支援

① 三重県精神保健福祉ボランティア連絡協議会（こころのボランティア協議会）

平成11年度に7つの精神保健福祉ボランティアグループで構成する連絡協議会が発足した。現在は、月1回運営委員会を開催し、ボランティア団体の相互の情報交換や精神障がい者の就労支援・災害時支援について意見交換を行っている。

② 三重てのひら

平成元年から当センターで実施した、精神保健福祉ボランティア教室の修了生により、平成4年に結成された。平成15年度から当センターで実施されていたデイケアを引き継ぎ、毎月第1～第4月曜日に当事者サロン「ありんこ」を開催・運営している。

【支援状況】

センターでは、こころのボランティア協議会の運営を支援するとともに、「三重でのひら」が運営している当事者サロン「ありんこ」に参加するなど、ボランティアへの支援を行っている。

内 容	参加・支援回数
こころのボランティア協議会への参加	2回
サロン「ありんこ」への参加・運営支援	随時

(3) 当事者会・当事者グループへの運営支援

近年県内では、当事者会・当事者グループを立ち上げる動きや活動も活発となってきている。

センターでは、「こころのケアガイドブック」へ当事者会・当事者グループの活動内容を紹介し、ホームページへも掲載している。また当事者会への参加など、当事者団体等への運営支援を実施している。

【支援状況】

内 容	参加・支援回数
当事者会・当事者グループへの運営支援	随時

6 薬物相談ネットワーク整備事業

平成11年度から当センターを中核とした薬物相談ネットワーク整備事業が始まった。

薬物依存症の問題で困っている家族、関係者が薬物依存症について、正しい知識を持ち、回復につながる対応を学び、孤立した状態から解放されるとともに、薬物依存症者自身の回復を動機づけることを目的に以下の事業を実施している。また、依存症は薬物だけでなく、ギャンブルやアルコールも社会問題化している。専門相談に加え、家族教室や研修会、講演会を実施している。

(1) 依存症専門相談

① 対象

県内在住の薬物、ギャンブル、アルコールに悩む当事者及び家族

② 相談件数

電話相談（専門電話以外に相談のあった件数含む）

76件

来所相談

76件

相談の内訳

	薬物	ギャンブル	アルコール	その他
電話相談	14	26	19	18
来所相談	18	18	44	2

※重複して計上しているため合計とは一致していない。

(2) 家族教室

薬物だけでなく、様々な依存対象が精神保健福祉上の問題となるため、平成21年度より家族教室の名称を「薬物問題家族教室」から「依存症問題家族教室」と改め、原則第3金曜日とし平成24年度は次のとおり実施した。

実施回数5回 参加延人数33人（うち薬物依存症は22名）

	春夏の部	内容	参加人数
①	6月8日	「依存症の知識と理解－医学から見た依存症－」 三重県立こころの医療センター 医師 長徹二氏	4
②	8月3日	「先ゆく仲間（ギャンブル依存症者の家族グループ）からのメッセージ①」 ギャマノン・メンバー	2
③	10月19日	「先ゆく仲間（ギャンブル依存症者の家族グループ）からのメッセージ②」 ナラノン・メンバー	6
④	12月21日	「回復と支援」 NPO 法人三重ダルク	10
⑤	平成25年 2月22日	「あなたは、あなた。私は私」 京都府立大学 准教授 山野尚美氏	11

(3) 薬物フォーラム（NPO法人三重ダルクとの共催）

開催日：平成24年10月13日（土）

場所：三重県人権センター 多目的ホール（津市一身田大古曾693-1）

内容：テーマ「つなごう地域のか、支えよう薬物依存者の回復」

講演「茨城県における地域ネットワークの実践とこれから」

講師 茨城県立こころの医療センター 副院長 中村恵氏

シンポジウム

シンポジスト

障害者就業・生活支援センター そういん 主任就業担当者 中村弘樹氏

三重県地域生活定着支援センター 所長 小野田正晴氏

特定非営利法人三重ダルク 代表 市川岳仁

三重県こころの健康センター 所長 井上雄一朗（コーディネーター）

コメンテーター

茨城県立こころの医療センター 副院長 中村恵氏

対象者：一般、家族、教育・保健・福祉・司法・NPO・行政機関関係者等

参加者数：180名

(4) NPO法人三重ダルクとの協働委託事業

地域における相談支援に携わるスタッフが依存症に関する理解と有効な社会資源情報を共有できるよう目指すことで、依存症者がより回復への道を歩むようになることを実現することを目的とし、平成18年度よりNPO法人三重ダルクと協働委託事業を実施している。

①「依存症ネットワーク会議」の開催

依存症問題を抱える当事者・家族を、地域のネットワークで支えられるよう、関係機関によるネットワーク会議を開催した。

実施地域： 県内3箇所（鈴鹿亀山・松阪・伊勢志摩）

対象： 地域の関係機関（市町、保健所、相談支援事業所、精神科病院、警察、保護観察所、保護司会、薬物乱用防止指導者協議会など）

実施地域	実施日時	場所	参加人数
伊勢志摩地域	平成25年1月24日（木）	伊勢庁舎 大会議室	32
鈴鹿亀山地域	平成25年2月19日（火）	鈴鹿庁舎 衛生教育室	24
松阪地域	平成25年2月21日（木）	松阪庁舎 大会議室	23
合計（延人数）			79

②「依存症ネットワーク会議事例検討会」の開催

前年度ネットワーク会議を実施した地域において、依存症問題を抱える当事者・家族を地域のネットワークで支えられるよう、関係機関同士の連携を強化するために事例検討会を開催した。

実施地域： 県内3箇所（桑名・津・尾鷲）

対象： 地域の関係機関（市町、保健所、相談支援事業所、精神科病院、警察、保護観察所、保護司会、薬物乱用防止指導者協議会など）

実施地域	実施日時	場所	参加人数
桑名地域	平成24年7月20日（金）	いなべ市 大安庁舎	14
尾鷲地域	平成25年2月28日（木）	尾鷲庁舎 会議室	15
津地域	平成25年3月14日（木）	津庁舎 64会議室	12
合計（延人数）			41

③「依存症に関する講演会」の開催

依存症は、人によって様々な環境や背景から陥ることを理解し、地域で生活していくためにどのようなサポートが必要か考える機会とするため講演会を開催した。

開催日時：平成24年12月26日（水）14時00分～16時30分

対象者：精神保健福祉および薬物関連問題に従事する者

場所：三重県総合文化センター 生涯学習センター4階 中研修室

内容：講演「多様な背景から依存症へ」

講師 特定非営利活動法人リカバリーサポート・ネットワーク

代表 精神科医 西村直之氏

参加人数：75名

7 ひきこもり対策事業

ひきこもり問題は社会問題化しており、そのサポート体制の構築は喫緊の課題となっている。

こころの健康センターでは平成15年度に「ひきこもり等への相談・支援体制整備事業」により、ひきこもり等の相談事例の収集分析を実施した。その結果、就学終了とともに支援が途切れ、本人・家族共に、家庭内で問題を抱えながら長期にひきこもっている事例も少なくない現状が浮かび上がった。

そこで、当センターでは平成16年7月から専門相談窓口を設置し、当事者、家族が孤立せず、相談体制を継続し、社会復帰を行うための適切な支援体制を整備すること、また関係機関との連携を図り重層的な支援体制を構築することを目的に「ひきこもりサポート事業」を開始した。

また、平成19年度からは県民しあわせプラン第二次戦略計画の「みえの舞台づくり 若者の自立支援プログラム」の『ひきこもる若者の自立支援事業』としてスタートした。

平成23年度より「ひきこもり専門相談」として相談窓口を明確化し、「ひきこもり支援コーディネーター」（非常勤1名）を配置して相談機能を強化した。

（1）ひきこもり専門相談

① 対象

ひきこもり状態にある本人や家族等

② 相談件数

電話相談

79件（専門電話以外に相談のあった件数含む）

来所相談

60件

相談のうち、障がい等の疑いがあるもの

	精神疾患の疑い	発達障がいの疑い	パーソナリティ障がいの疑い	その他
電話相談	21	4	2	16
来所相談	25	11	3	14

（2）家族教室・家族交流会

① ひきこもり・思春期問題家族教室、家族のつどい

ひきこもりや思春期の問題を抱える家族に心理教育プログラムを通して正しい知力や情報を伝えるとともに、家族同士の交流や情報交換により、互いの悩みを分かち合い、様々な工夫を共有することで、不安や罪悪感、焦燥感を軽減する、家族の孤立化を防ぐなど精神的な安定をはかり、当事者のひきこもり等の改善に役立てることを目的とし、教室は原則奇数月第2木曜日、つどいは8月と10月の2回実施した。

対 象：ひきこもり（不登校ぎみを含む）状態にある子などを持つ家族。
 期 間：平成24年5月～平成25年1月 14時～16時 （全7回）
 参加者：延べ103人参加

日程	内容
5月24日	オリエンテーション 「ひきこもりについて」 センター職員
7月12日	ひきこもり体験談 ひきこもり当事者(NPO法人「なでしこの会」)
8月 9日	家族のつどい①(家族交流会)
9月13日	わが子のひきこもり～家族にできること～ 三重県立看護大学 船越明子氏
10月11日	家族のつどい②(家族交流会)
11月 8日	就労について考える いせ若者就業サポートステーション総括コーディネーター 浦田宗昭氏
平成25年 1月10日	家族教室・つどいを振り返って センター職員

(3) 講演会・研修会

① ひきこもり講演会

日 時：平成24年12月7日（金）13時30分～16時00分

場 所：三重県生涯学習センター2階 視聴覚室

内 容：講演「ひきこもりを『つながり』で支える地域づくり
～家族にできること、社会にできること～」

講 師：白梅学園大学子ども学部子ども学科教授 長谷川 俊雄氏

参加者：62名（一般・医療・保健・福祉・行政・教育・NPO・就労支援関係者等）

② 支援者スキルアップ研修会

(第1回)

日 時：平成24年8月24日（金）14時～16時

場 所：三重県男女共同参画センター2階 セミナー室A

内 容：「『ひきこもり支援の方法論』
～アウトリーチ支援の位置づけと方法を考える～」

講 師：日本福祉大学名誉教授 竹中 哲夫氏

参加者：24名（行政・医療・保健・福祉・教育・労働・NPO等自立支援関係者等）

(第2回)

日 時：平成24年10月2日（火）14時～16時

場 所：三重県男女共同参画センター3階 セミナー室C

内 容：「地域におけるひきこもり支援」

講 師：和歌山県精神保健福祉センター所長 小野 善郎氏

参加者：32名（行政・医療・保健・福祉・教育・労働・NPO等自立支援関係者等）

(4) 関係機関との連携

① ひきこもり支援ネットワーク会議の開催

県内の社会資源情報を把握した「ひきこもり支援機関ガイドマップ」を作成することを契機に、地域の関係機関との連携強化と支援体制の充実を図ることを目的に開催。

日 時：平成25年3月12日（火）13時30分～16時30分

場 所：三重県津庁舎6階 64会議室

参加者：22名（行政・医療・保健・福祉・労働・NPO等自立支援関係者等）

② みえ若者就労支援ネットワークとの連携

「みえ若者就労支援ネットワーク会議」に参加 2回

③ みえ不登校支援ネットワークへの参画

「フォーラム・交流会議」に参加 1回

(5) 普及啓発

① 講演会（再掲）

② ホームページによる情報発信

ひきこもり支援情報ポータルサイトの開設（平成23年4月～）

8 自殺対策事業

当県の自殺者は、厚生労働省の「人口動態統計」によると、平成10年に452人と大幅に増加し、平成9年の274人と比較すると1.6倍になり、以降400人前後で推移している。平成24年の三重県の自殺者数は368人であった。

三重県における自殺対策を地域社会全体で総合的かつ効果的に推進するために「三重県自殺対策行動計画」が策定され、人とひとのつながりで「生きやすい社会」の実現を目指してきた。このような取組の中、自殺総合対策大綱の見直しを契機として、平成25年3月に「第2次三重県自殺対策行動計画」が策定された。当センター内に平成23年度より自殺対策情報センターを設置。「自殺対策情報センター支援員」（非常勤1名）を配置し相談機能を強化した。また、関係機関と連携を図りながら、情報提供、人材育成のための研修会等を実施するなど、自殺を考えている人や自死遺族に対する支援の強化充実を図ってきている。特に、人材育成として「自殺のサインに気づき、声をかけ、適切なケアに繋げる」メンタルパートナーとそのメンタルパートナーを養成するための指導者研修を平成23年度から実施している。

(1) 自殺予防・自死遺族相談

① 対象

県内在住の、自殺に傾いている人やその家族、自死で身近な方をなくされた方

② 相談件数

電話相談（専門電話以外に相談のあった件数含む）

130件

来所相談

36件

来所相談の内訳

	本人	家族	自死遺族	合計
職員面談	10	0	16	26
医師面談	5	2	3	10

③ 全国一斉こころの健康相談統一ダイヤルへの参加

自殺予防週間及び自殺対策強化月間の開始1週間の平日13時～16時まで、内閣府が実施している全国一斉こころの健康相談統一ダイヤル（TEL

おこなおう まもろうよ こころ
0570-064-556）に参加し電話相談を実施した。

(2) 自死遺族支援

① 自死遺族の集い（わかちあいの会）の開催

突然亡くなった大切な人に対する哀しみや深い思いを語り合える場所とするため、自死遺族の集いを開催した。

日時：奇数月第4土曜日 13時30分～15時30分

場所：こころの健康センター図書資料室もしくはストレスケアルーム

対象：家族を自死で亡くされた方（自死された方の親・配偶者・兄弟姉妹・子ども）

協力機関：三重いのちの電話協会・国際ビフレンダーズ熊野自殺防止センター

参加者数：第1回 平成24年 5月26日（土） 9名（うち新規者2名）

第2回 平成24年 7月28日（土） 11名（うち新規者3名）

第3回 平成24年 9月22日（土） 14名（うち新規者2名）

第4回 平成24年11月24日（土） 9名

第5回 平成25年 1月26日（土） 10名（うち新規者2名）

第6回 平成25年 3月23日（土） 8名（うち新規者2名）

- ② リーフレット「自死で大切な人を亡くされたあなたへ～悲しみをわかちあえる場や相談窓口があります～」の三つ折り版（6千部）とカードサイズ版（2万部）を作成し、関係機関へ配付した。

（3）講演会・研修会

① 自殺対策シンポジウム

日時：平成25年3月10日（日） 13：00～16：30

場所：三重県人権センター 多目的ホール

対象：住民、自死遺族、ボランティア団体、医療機関、教育機関、保健福祉機関、司法関係者、企業・産業保健関係者、行政等

内容：第1部 講演「うつ病が教えてくれたもの」女優 音無 美紀子 氏

第2部 ミニ講座「自殺の現状と課題」「メンタルパートナー養成研修」
こころの健康センター所長 井上 雄一郎

第3部 シンポジウム「死にたい気持ちに寄り添い生きる支援へ」

《シンポジスト》

特定非営利活動法人三重いのちの電話協会 理事長 鈴木 秀昭 氏
社団法人日本産業カウンセラー協会

シニア産業カウンセラー 太田 克子 氏

特定非営利活動法人チャイルドライン MIE ネットワーク

代表理事 田部 眞樹子 氏

一般社団法人社会的包摂サポートセンター

全国コーディネーター 和久井 みちる 氏

《コーディネーター》

三重県健康福祉部医療政策総括監兼次長 森岡 久尚

参加：216名

② メンタルパートナー養成事業の実施

メンタルパートナー指導者養成研修は、当センターが実施している（平成26年度目標値550人）。メンタルパートナー養成研修はメンタルパートナー指導者が実施しているため、保健所や市町等での実施が多い（平成26年度目標値2万人）

【メンタルパートナー指導者養成研修】

開催日	会場	養成者数
平成24年5月29日(火)	津庁舎	25名
7月6日(金)	全国健康保険協会三重支部	20名
8月2日(木)	四日市庁舎	34名
8月31日(金)	桑名庁舎	25名
12月19日(水)	メンタルヘルス対策支援センター	9名
12月20日(木)	津庁舎	46名
平成25年1月17日(木)	(株)NTN 桑名製作所	24名
1月22日(火)	(株)NTN 桑名製作所	21名
合計 8回		204名

【メンタルパートナー指導者登録者内訳】

所属内訳

県15名 市町関係41名 企業・団体・個人148名

*すべての保健所・市町のメンタルパートナー指導者が登録された。

【メンタルパートナー養成研修】

保健所、市町、団体等実施分	9,034名
健康づくり室、こころの健康センター、その他実施分	1,178名
合計	338回 10,212名

※こころの健康センター開催分の詳細については講演活動に掲載

③ 相談窓口担当者研修

【自殺防止のための相談窓口対応力向上研修】

対象：法律・労働・生活・医療・福祉・保健機関等で相談に当たる方、団体等で自殺予防に取り組んでいる方、様々な分野で「生きる支援」に取り組んでいる相談員等、またはメンタルパートナー指導者研修を受講した方

目的：各相談窓口対応者が自殺や心の問題について理解し、自殺に傾く人の心理状態の自殺の危険度に配慮した対応を心がけ、必要な場合には、適切な別の相談機関へつなぐことができるように、自殺予防に果たす電話相談の役割を考えるとともに、知識とスキルを身につけるための研修会

内容：自殺防止のための電話相談対応研修（2日間連続講座）

1日目「希死念慮のある人の電話相談の受け方」

電話相談の基本と特徴、心構え等希死念慮を訴える相談・対応に困る相談

2日目「関係機関へのつなぎ方・連携の取り方」

緊急性の見立て・つなぐ際の注意、希死念慮のある人を関係機関につなぐ等

日時：平成24年11月6日(火)・7日(水) 10時～16時30分

場所：三重県人権センター3階 大セミナー室

参加：1日目 78名 2日目 57名

講師： 特定非営利活動法人メンタルケア協議会 西村 由紀 氏
國吉 淨子 氏

④ こころの危機管理研修

日時：平成24年7月5日（木）14時～16時30分

場所：三重県津庁舎 6階 大会議室

内容：講演「災害に対しての基本的な対応と組織としての心構え」

講師：宮城県精神保健福祉センター 技術次長 小原 聡子 氏

対象：県保健福祉事務所、市町、相談支援事業所、精神科病院、クリニック、
障がい者福祉サービス事業所（施設）等でこころの健康危機管理業務に従
事する者、危機管理の責任者及び管理する者

参加：68名

（４）普及啓発

① 自殺予防週間における啓発

【街頭キャンペーン】

日時：平成24年9月10日（月）

内容：啓発用ティッシュ及びパンフレットの配布、のぼり立て

実施機関：健康づくり課、こころの健康センター

協力：三重いのちの電話協会

【自殺予防普及啓発コーナー設置】

日時：平成24年9月7日（水）～9月14日（金）

内容：ポスター展示、のぼり立て、パンフレット、リーフレット、クリアファイ
ル、ティッシュ等の持ち帰り

場所：津庁舎ロビー（津保健福祉事務所と合同設置）

【他事業におけるティッシュ等の配布】

② 県民健康の日記念イベントにおける啓発

【ワンコインコンサート「こころの絆づくりチャリティコンサート」】

日時：平成24年9月5日（水）11時30分～12時30分

場所：三重県文化会館大ホール

内容：ブルーオーラルサクソフォン・カルテットによるコンサート

自殺予防普及啓発コーナー設置（健康づくり課・こころの健康センター・
三重いのちの電話協会等）

出席：1,098名

③ 自殺対策強化月間における啓発

【街頭キャンペーン】

日時：平成25年3月1日（木）7：45～8：30

内容：啓発用ティッシュの配布、のぼり立て

場所：津駅西口・東口周辺

実施機関：健康づくり課、こころの健康センター

協力：三重いのちの電話協会

【自殺予防普及啓発コーナー設置】

日時：平成25年3月15日（金）～3月22日（金）

内容：自殺統計資料、自殺予防の資料展示、ポスター展示、のぼり立て、パンフレット、リーフレット、クリアファイル、ティッシュ等の持ち帰り

場所：津庁舎ロビー（津保健福祉事務所と合同設置）

【他事業におけるティッシュ等の配布】

- ④ 自殺対策パンフレット「こころ健康だいじょうぶ」の作成配付15,000部

（5）関係機関との連携

自殺対策を地域全体で総合的かつ効果的に推進するため、県庁自殺対策主管課の健康づくり課と協力し各関係機関や団体との会議を開催、委員として参加するなどして関係機関との連携を図った。

* 三重県自殺対策推進部会

* 三重県自殺対策推進会議

* 三重県多重債務者対策協議会・多重債務者相談担当者研修会への参加

* 三重県司法書士会主催の自殺対策シンポジウム（三重県後援）への協力

日時：平成25年1月27日（日）13時から16時30分

場所：津庁舎6階大会議室

内容：基調講演「自殺対策ネットワークにおける法律専門職の役割」

講師 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター

精神保健研究所 精神保健計画研究部長 竹島 正 氏

パネルディスカッション

「三重県における法律専門職の自殺対策への取り組み方」

名刺交換、情報交換

* 市町・保健福祉事務所自殺対策担当者会議

* 各地域自殺・うつ対策ネットワーク組織への参加支援

* ユース・メンタルサポートセンターMIE（こころの医療センター）への協力

（6）その他

自殺予防相談対応の手引きの作成および配付（配付は25年4月）

県内の様々な分野にわたる相談窓口を設置する関係機関、精神保健福祉分野等で支援やケア担当者が活用できる内容を想定して作成した。自殺総合対策大綱に示されている3つの自殺対策の基本認識、相談対応の基本、対応の実際のポイントを具体的に示している。

9 こころの健康危機管理事業

近年、自然災害、大規模事故災害、衝撃的な事件等、予測を超える事象の発生によりこころに傷を負った人たちに対するこころのケアの必要性が広く認識されるようになってきている。

そのため多様な心理的外傷を負った人たちに対し、適切な支援や情報提供を行うことのできる人材の育成や市町、医療機関、学校等関係機関との連携のもとに、「こころの健康危機」における支援体制の整備に取り組んだ。

(1) こころの健康危機管理研修会の開催（再掲）

災害時に二次的な被災を防止し、こころの傷を最小限に止めることができるように“今できること”“今、整えておくべき体制”を学ぶ機会として研修会を実施した。

日 時：平成24年7月5日（木）14時～16時30分

場 所：津庁舎 6階 大会議室

対 象：市町、障がい者相談支援事業所、障がい福祉サービス事業所（施設）、保健福祉事務所等でこころの健康危機管理業務に従事する者、危機管理責任者及び組織を管理する者

参加者：68名

内 容：講演

「災害に対しての基本的な対応と組織としての心構え

～宮城県精神保健福祉センターの活動の経験から～

講師 宮城県精神保健福祉センター 技術次長 小原 聡子氏

(2) 「災害時こころのケア活動マニュアル【暫定版】」の作成・発行

東日本大震災での経験を振り返り、今後発生すると言われている東南海地震等の大災害を想定したマニュアルの必要性から、平成20年3月発行の「こころの健康危機管理マニュアル(第2版)」を改訂した、新たなマニュアルの作成に取り組んだ。

マニュアル作成にあたっては、市町保健師協議会代表、保健所こころの健康づくり業務担当者、保健所精神保健福祉相談業務担当者、県庁地域医療推進課・健康づくり課・障がい福祉課、こころの健康センターで構成するワーキンググループを立ち上げ、計3回の検討を重ねた。

その結果、災害時に「市町・保健所・こころの健康センター・県庁担当課」のそれぞれの機関が行うこころのケア活動を明記した「災害時こころのケア活動マニュアル」を作成、平成25年3月に【暫定版】を発行した。

今後、担当者会議を開催して関係機関からの意見を求め、内容の精査を行ったうえで、平成25年9月に「マニュアル【完成版】」の発行を目指している。

(3) メールマガジンによる啓発

平成22年度から発行（4回／年）している当センターメールマガジンの連載コラムにおいて、災害等でこころに大きな影響を受けたときの支援を中心に『災害とこころのケア』を掲載した。

平成24年 7月発行（第9号）：「マスコミ・報道への対応」

平成24年 9月発行（第10号）：「こころの健康危機管理研修の報告（前編）」

平成24年12月発行（第11号）：「こころの健康危機管理研修の報告（後編）」

平成25年 3月発行（第12号）：「支援者や周囲の人々が気をつけること」

10 精神医療審査会の審査に関する事務

精神医療審査会では、医療保護入院者の入院届並びに措置入院者及び医療保護入院者の定期病状報告の審査と、精神科病院に入院中の者、又はその保護者からの退院・処遇改善の請求の審査を公平かつ専門的な見地から行っている。

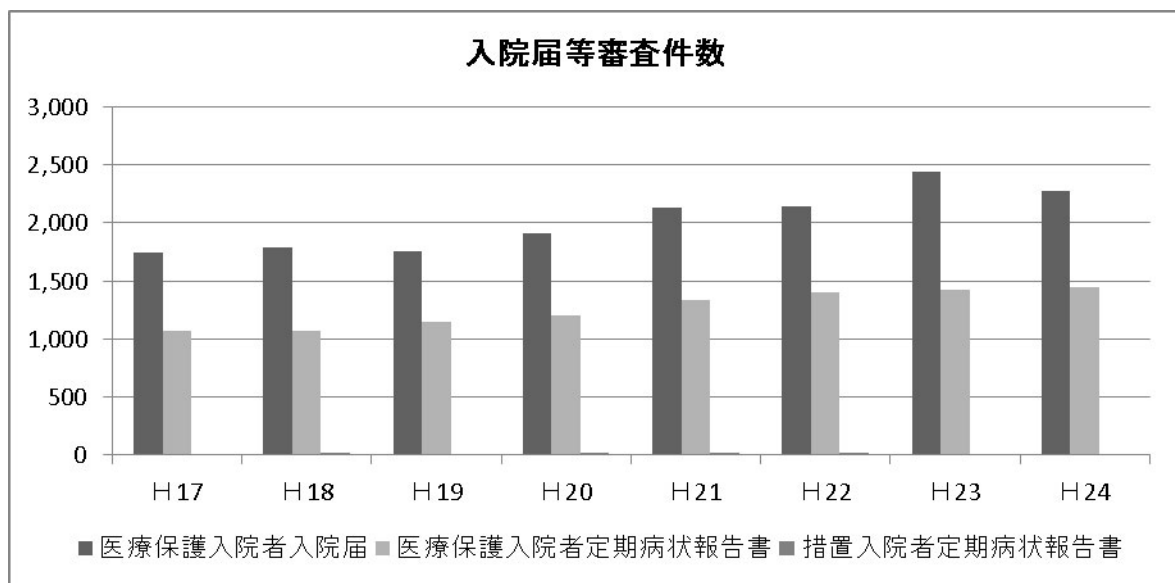
(1) 入院届・定期病状報告の審査

○入院届・定期病状報告の審査状況

医療保護入院者の入院届	措置入院者の定期病状報告書	医療保護入院者の定期病状報告書	計	審査結果		
				現入院形態での継続	他の入院形態へ移行	入院継続の必要なし
2,275	15	1,450	3,740	3,740	0	0

○入院届等審査件数年次推移

項目 \ 年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
医療保護入院者入院届	1,747	1,784	1,757	1,913	2,136	2,144	2,446	2,275
(他の入院形態が妥当)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
医療保護入院者定期病状報告書	1,076	1,072	1,145	1,208	1,338	1,402	1,423	1,450
(他の入院形態が妥当)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
措置入院者定期病状報告書	13	17	8	27	26	25	13	15
(他の入院形態が妥当)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
計	2,836	2,873	2,910	3,148	3,500	3,571	3,882	3,740
(他の入院形態が妥当)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)



平成24年度の医療保護入院者の入院届の審査件数は2,275件、措置入院者の定期病状報告は15件、医療保護入院者の定期病状報告は1,450件であり、審査結果は全て現在の入院形態が適当であると判断された。

(2) 退院・処遇改善請求の審査

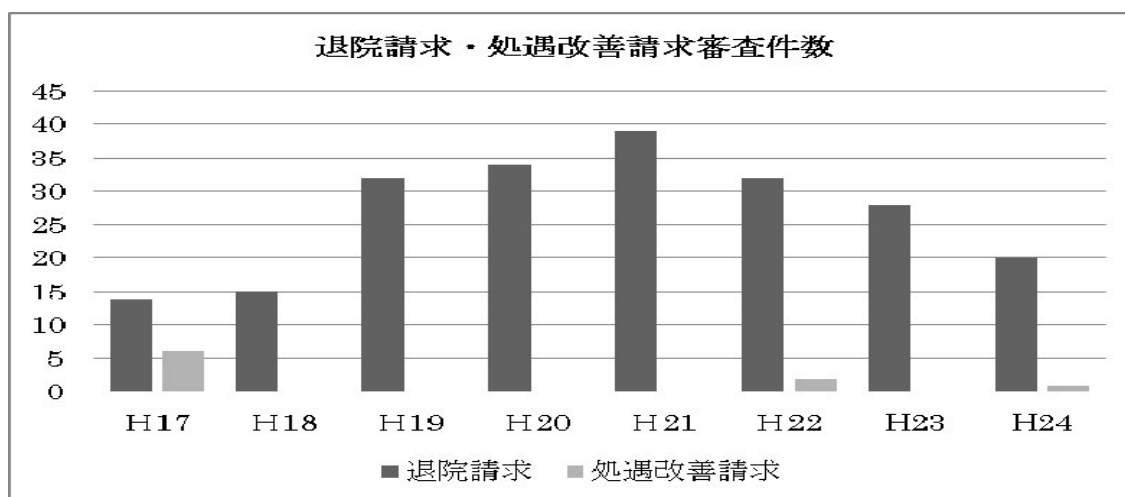
○退院・処遇改善請求の審査状況

請求件数	請求者との続柄	請求内容	請求取り下げ件数	審査件数	実地調査 (面接・意見聴取)件	書面調査 件数	審査結果
26	入院者本人	退院請求 25件 処遇改善請求1件	5	20	16	5	現在の入院形態継続19件 現在の処遇適当 1件

(実施調査16件の内、1件は調査後に退院したため、審査対象外)

○退院・処遇改善請求審査件数年次推移

項目 \ 年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
退 院 請 求	14	15	32	34	39	32	28	19
(入院または処遇が不適當)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
処 遇 改 善 請 求	6	0	0	0	0	2	0	1
(入院または処遇が不適當)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
計	20	15	32	34	39	34	28	20
(入院または処遇が不適當)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)



退院請求・処遇改善請求の審査件数は20件で、そのうち退院請求が19件、処遇改善請求は1件であった。20件のうち6ヶ月以内の再請求者5件は書面による調査を行い、他の15件について実地調査（意見聴取）を実施した。審査結果については書面・実地調査ともすべて現在の入院形態及び処遇が適当であると判断された。

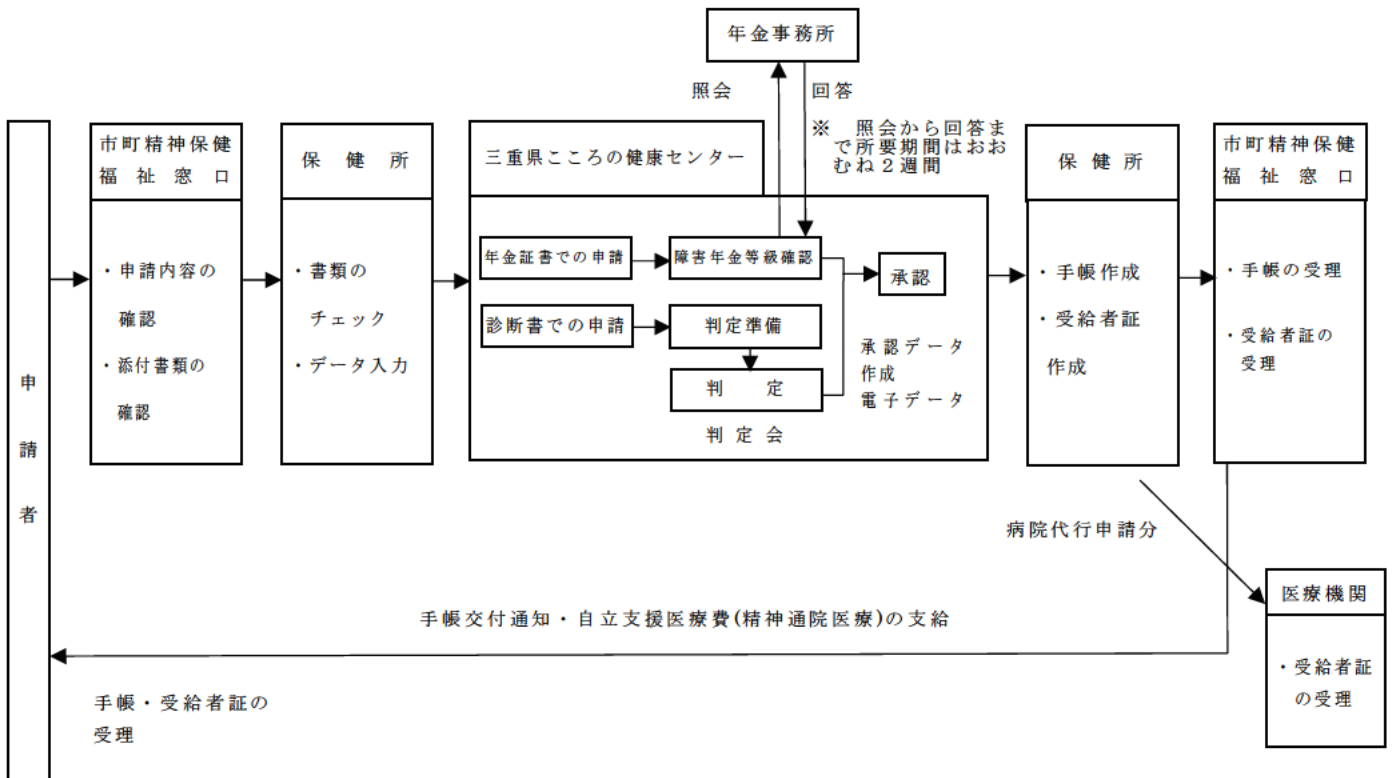
1 1 精神障害者保健福祉手帳交付の判定及び承認事務

精神障害者保健福祉手帳は、一定の精神障がいの状態にあることを認定して交付することにより、手帳の交付を受けた方に対し、各方面の協力により各種の支援策が講じられることを促進し、精神障がい者の社会復帰や自立と社会参加の促進を図ることを目的に交付されている。

精神障害者保健福祉手帳の申請は、診断書添付によるものと年金証書（写）添付によるものの2種類ある。

診断書によるものは判定会で判定を行い、年金証書（写）によるものについては、年金事務所等に障害年金受給の有無及び等級などを照会にかけ、各々おおむね月2回承認事務を行っている。

【申請から交付までの流れ】



(1) 24年度申請及び交付状況

申請状況

	診 断 書	年 金 証 書	合 計
申 請 者 数	2, 9 3 1	2, 2 3 2	5, 1 6 3
新 規	1, 0 4 7	3 0 8	1, 3 5 5
更 新	1, 8 8 4	1, 9 2 4	3, 8 0 8

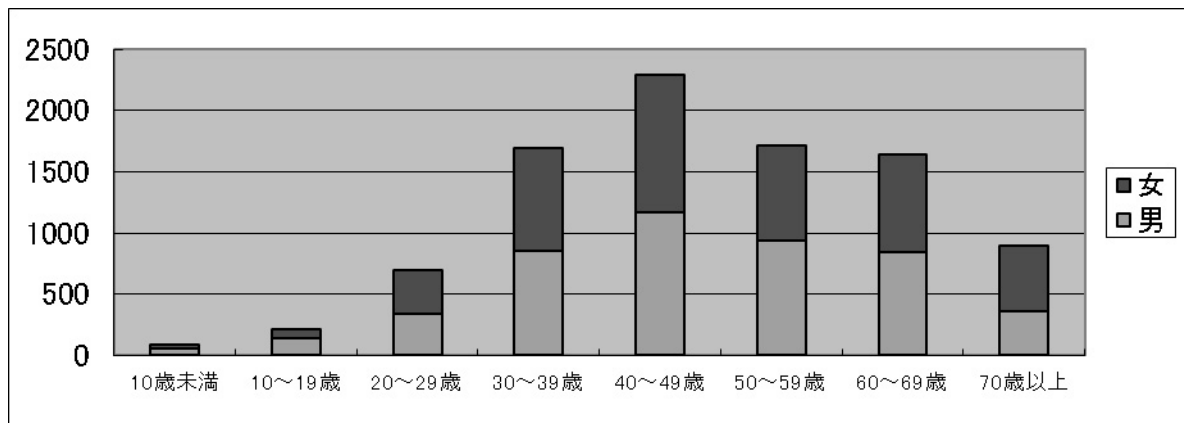
24年度中の申請者数5,163件のうち新規は1,355件で26.2%を占めており、昨年の28.1%に比べ微減となっている。申請の方法は診断書によるものが56.7%、年金証書によるものが43.2%であった。

交付状況

		1 級	2 級	3 級	合 計
		診 断 書	303 (223)	1,625 (1,109)	922 (520)
交付者数(内更新数)	年 金 証 書	256 (228)	1,707 (1,475)	183 (146)	2,146 (1,849)
	合 計	559 (451)	3,332 (2,584)	1,105 (666)	4,996 (3,701)
年 度 末 現 在 交 付 者 数		1,057	6,224	1,963	9,244

(2) 手帳所持者の性・年齢別

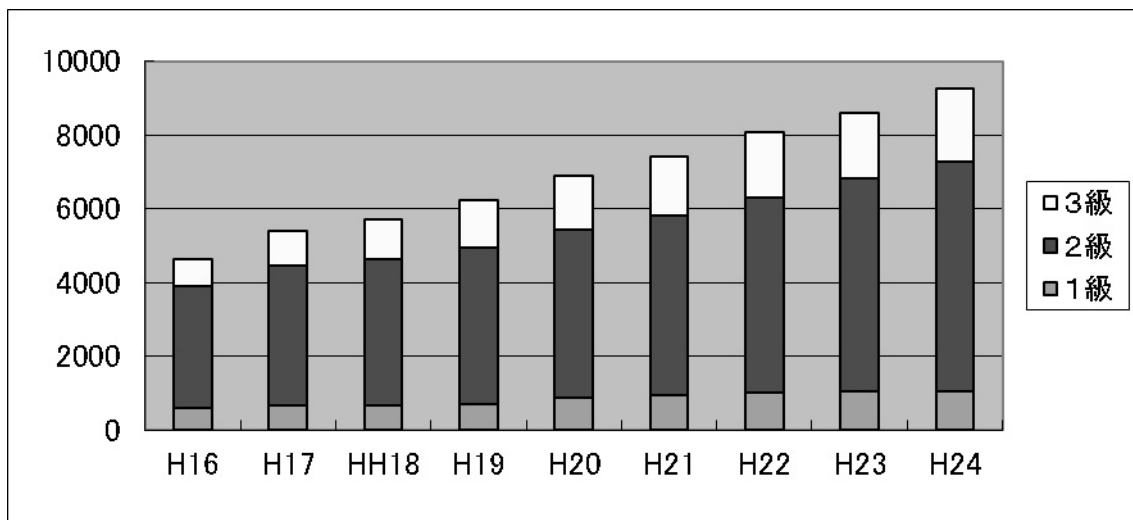
	10歳未満	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
男	61	139	336	851	1,171	941	840	361	4,700
女	24	70	366	844	1,120	776	806	538	4,544
計	85	209	702	1,695	2,291	1,717	1,646	899	9,244



(3) 手帳の所持者数 (各年度末)

年度 等級	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
1 級	605	658	662	716	857	931	1,010	1,060	1,057
2 級	3,289	3,801	3,963	4,244	4,567	4,871	5,281	5,753	6,224
3 級	731	944	1,089	1,285	1,466	1,628	1,782	1,799	1,963
計	4,625	5,403	5,714	6,245	6,890	7,430	8,033	8,612	9,244
伸び率	125%	117%	106%	109%	110%	108%	108%	107%	107%

手帳の所有者数は、優遇措置の増加に伴い、平成17年度までは対前年比の大きな伸び率（17%～32%）を示していたが、平成18年度初めて一桁台（6%）になり、平成24年度は7%の伸び率であった。



1 2 自立支援医療費（精神通院医療）支給認定の判定事務

平成14年度から通院医療費公費負担患者票の判定及び承認事務を行ってきたが、同制度が障害者自立支援法に移行されたことに伴い自立支援医療費（精神通院医療）支給認定の判定事務を行っている。この制度は、精神障がい者の社会復帰の早期実現をめざし、精神障がい者が病院等で適正医療を受けやすくするために、医療費の90%に相当する額を保険給付とあわせて公費で負担する制度である。なお、平成25年度からは、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に移行される。

事務処理については、平成22年度より診断書内容の判定事務はセンターで、交付事務については各保健所で行っている。

（1）24年度申請及び承認状況

申請件数	承認件数		不承認	取り下げ	保留
7,951	7,938	新規 3,498 継続 4,440	6	4	3

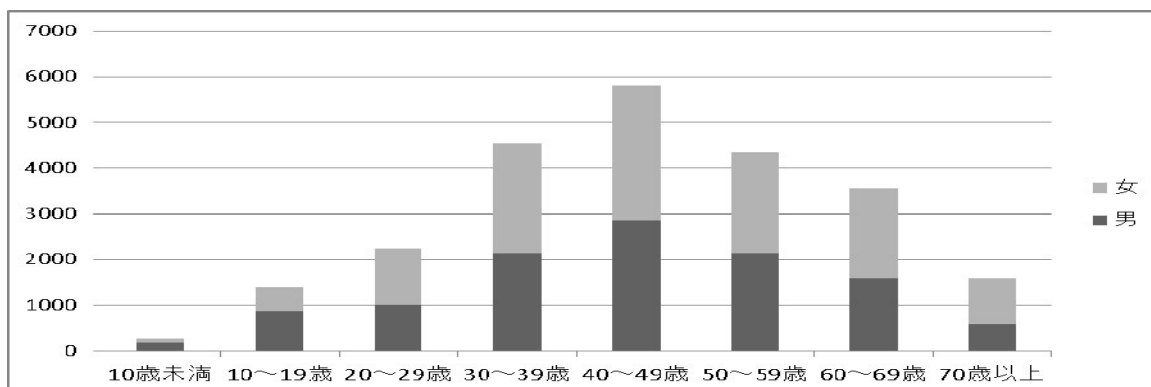
申請時における診断書の取扱については、毎年添付から2年に1度と変更となり、平成24年度は診断書添付の必要がない申請者が多数となったため、センターにおける申請件数は、前年度の約4割となった。

（2）自立支援医療費（精神通院医療）受給者証所持者数（各年度末）

年 度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
所持者数	19,715	20,966	19,797	18,601	19,540	20,698	22,148	22,906	23,739
伸 び 率	1.17	1.06	0.94	0.94	1.05	1.06	1.07	1.03	1.04

（3）受給者証所持者の性・年齢別

	10歳未満	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
男	190	870	1,007	2,134	2,864	2,146	1,590	584	11,385
女	70	516	1,222	2,411	2,946	2,209	1,959	1,021	12,354
計	260	1,386	2,229	4,545	5,810	4,355	3,549	1,605	23,739



1 3 その他

(1) 心神喪失者等医療観察法関連

「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律（心神喪失者等医療観察法）」は平成15年7月に成立・公布され、平成17年7月に施行された。

同法では、保護観察所が対象者の処遇のコーディネーター役を果たすこととされている。通院処遇の決定（予定を含む）があった対象者ごとに、地域での医療や援助に携わるスタッフによる「地域処遇検討会議」「ケア会議」が開催され、必要な情報の共有や処遇方針の統一を図ることとされている。

【支援状況】

当センターでは、対象者の退院後の地域生活に向けた「地域処遇検討会議」及び「ケア会議」に参加し、各地域機関へ技術支援を行っている。

また、津保護観察所と連携して、三重県における医療観察のシステム・仕組みづくりに取り組み、医療観察を通じた地域ネットワーク機能や個別支援システムの構築に取り組んでいる。

内 容	参加・協力等回
「地域処遇検討会議」「ケア会議」への参加	1 4 回
連絡協議会・部会等への参加	1 2 回
津保護観察所と連携した仕組みづくりの検討	5 回

(2) 精神障がい者地域移行・地域定着支援事業への運営支援

三重県精神障がい者地域移行・地域定着支援事業は、平成15年度からモデル事業としてスタートし、平成18年度からは県内全圏域を対象として相談支援事業所等への委託事業として実施してきた。

この支援事業には「地域支援ネットワークの整備」「対象者への個別支援」の2つの目的がある。各圏域単位で、地域支援ネットワークの支援機関で構成する「地域移行支援協議会」が定期的で開催されている。

【支援状況】

当センターでは、地域づくり（地域支援ネットワークの整備）の視点から、各地域課題の抽出や課題解決に向けた協議への支援のため、「地域移行支援協議会」に参加している。

内 容	参加・支援回数
地域移行支援協議会への参加	1 5 回

(3) 三重県障害者自立支援協議会への支援

平成18年度の障害者自立支援法の施行により、県・圏域・市町の各単位で障害者自立支援協議会が開催されている。県障害者自立支援協議会の事務局は、県障がい福祉課・障害者相談支援センター・こころの健康センターとなっている。

県障害者自立支援協議会には、「運営会議」のほか、「圏域アドバイザー会議」「人材育成に関する検討委員会」等が位置付けられており、相談支援体制強化・自立支援協議会活性化に向けたシステムづくりが取り組まれている。

【支援状況】

当センターでは、精神障がい者支援・地域支援ネットワーク（地域づくり）・支援者への人材育成の視点から、県障害者自立支援協議会に参加している。

内 容	参加・支援回数
県障害者自立支援協議会・運営会議への参加	5回
圏域アドバイザー会議への参加	4回
人材育成に関する検討委員会への参加	4回

(4) こころの健康センター（精神保健福祉センター）機能検討会の実施

こころの健康センターが、精神保健福祉に関する総合的な技術支援を行う機関として、機能の向上を図っていくことを目的に、「こころの健康センター機能検討会」を実施した。

平成24年1月に立ち上げてから平成25年3月まで、「本庁職員を含む機能検討会」及び「所内検討会」を毎月開催し、こころの健康センターの業務全般の方向性、個別業務ごとの方向性及び具体的取り組みについて取りまとめた。

(取りまとめた内容)

- ① こころの健康センター業務全般の方向性
- ② 個別業務ごとの方向性の設定及び具体的取り組み

(方向性を設定した個別業務)

「技術指導・技術支援」「広報啓発・情報発信」「ひきこもり対策」「依存症対策」「自殺対策」「精神保健福祉関係機関・団体支援」「専門相談」「教育研修」「こころの健康危機管理」「精神医療審査会」「自立支援医療、精神保健福祉手帳」「精神保健福祉協議会」など

内 容	実施回数（25年度）
センター機能検討会（本庁職員3名を含む）	6回
所内検討会（所内メンバー5名）	8回

Ⅲ. 三重県の精神保健福祉統計

三重県の精神保健福祉統計

(1) 精神科病院

表1 精神病床数の推移

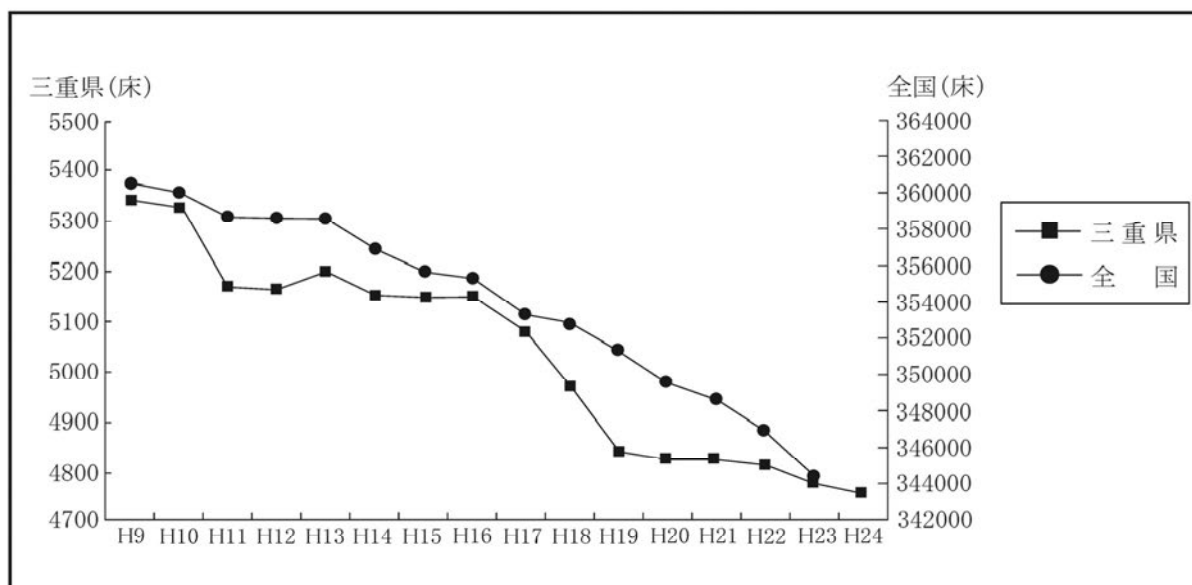
年 度	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
三重県	5,341	5,320	5,171	5,157	5,196	5,148	5,143	5,143	5,081	4,914	4,839	4,829	4,826	4,818	4,804	4,786
全 国	360,432	359,563	358,609	358,597	358,388	356,621	355,269	354,923	353,028	352,437	351,188	349,321	348,121	346,715	344,047	

三重県H13～は保護室含む。

(医療法上の精神病床数)

全国：厚生労働省医療施設調

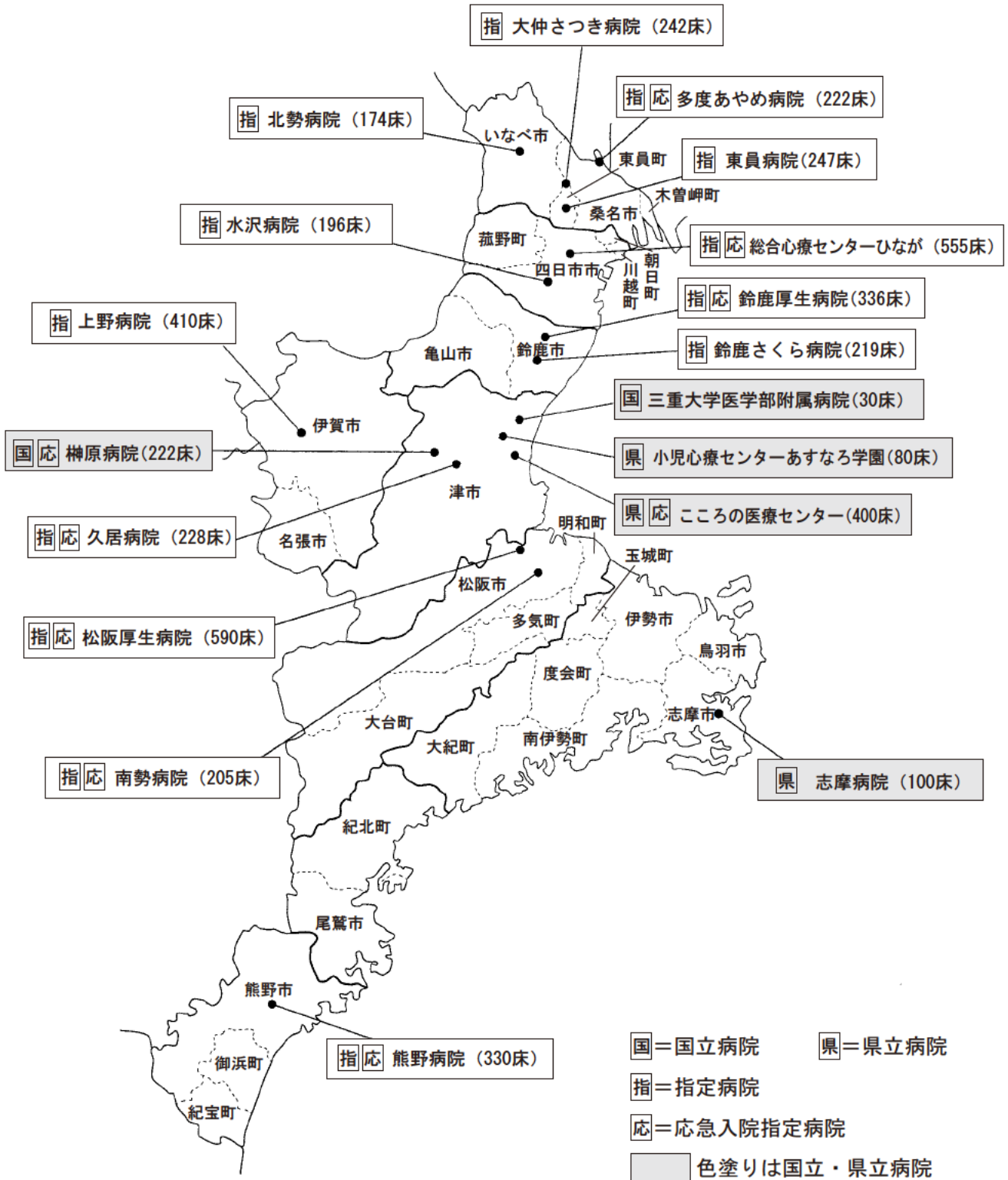
精 神 病 床 数



【三重県の精神科病院一覧】 平成25年4月1日現在

計 18病院、4,786床 (障がい福祉課資料)

図 1



(2) 入院患者

(厚生労働省 精神保健福祉関係資料 6月30日調査より)

表2 入院患者数の推移(入院形態別)

年度 入院形態	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
措置	18	18	11	21	16	15	15	14
医療保護	1,505	1,517	1,648	1,705	1,882	1,995	1,988	1,998
任意	3,134	3,022	2,809	2,693	2,588	2,469	2,386	2,255
その他	50	40	14	33	34	29	27	27
合計	4,707	4,597	4,482	4,452	4,520	4,508	4,416	4,294

表3 入院患者数(年齢別)

年度 年代	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
20歳未満	89	87	80	87	93	95	94	94
20～39歳	534	519	573	465	459	443	417	399
40～64歳	2,305	2,183	2,058	2,041	1,971	1,929	1,854	1,775
65歳以上	1,779	1,808	1,771	1,859	1,997	2,041	2,051	2,026
合計	4,707	4,597	4,482	4,452	4,520	4,508	4,416	4,294

入院患者(年齢別)(H17～H24)

表4 入院患者数（疾患別）

疾患 \ 年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
F0（症状性を含む器質性精神障害）	583	578	565	617	719	831	836	799
F1（精神作用物質による精神及び行動の障害）	188	177	155	154	150	120	136	143
F2（統合失調症、総合失調症型障害及び妄想性障害）	3,001	2,988	2,932	2,901	2,849	2,815	2,708	2,675
F3（気分（感情）障害）	325	324	323	330	338	355	365	326
F4（神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害）	143	132	82	69	59	56	77	66
F5（生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群）	68	31	77	32	31	28	21	21
F6（成人の人格及び行動の障害）	20	27	24	19	34	21	17	13
F7（精神遅滞）	131	149	147	144	133	121	108	85
F8（心理的発達の障害）	44	30	43	47	52	54	52	57
F9（小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害）	29	36	38	35	24	32	22	30
てんかん（F0に属さないものを計上）	77	80	37	42	46	39	47	40
その他	98	45	59	62	85	36	27	39
合 計	4,707	4,597	4,482	4,452	4,520	4,508	4,416	4,294

(3) 精神障害者保健福祉手帳

表5 保健所別手帳所持者数及び所持率

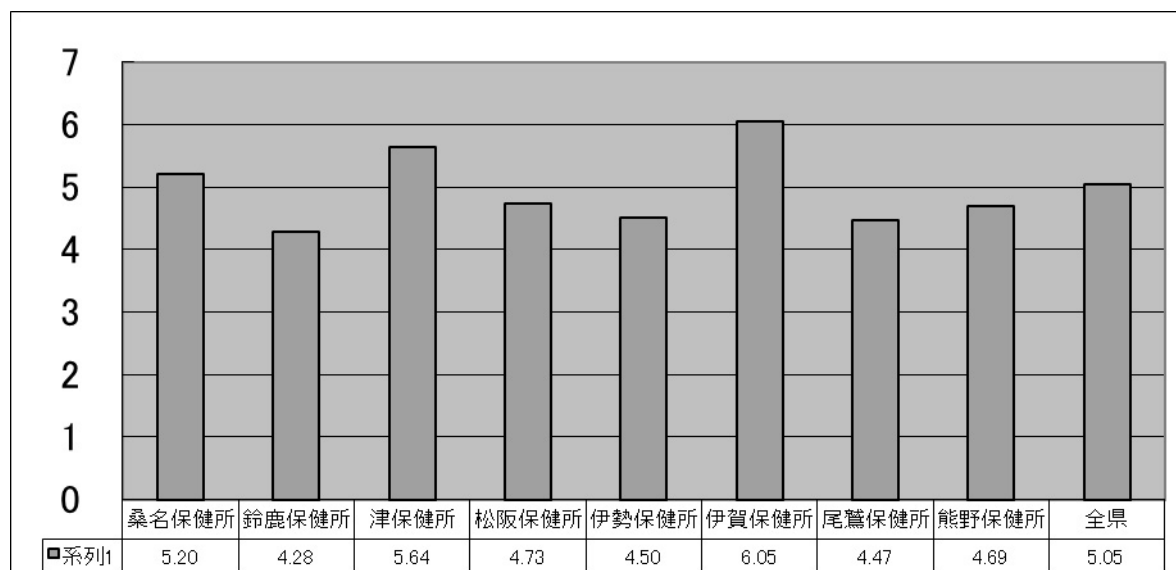
(平成25年3月末現在)

保健所名	等級			合計	対千人あたり 所持率
	1 級	2 級	3 級		
桑名保健所	431	2,050	585	3,066	5.20
鈴鹿保健所	113	705	244	1,062	4.28
津保健所	158	1,102	326	1,586	5.64
松阪保健所	96	692	230	1,018	4.73
伊勢保健所	111	733	274	1,118	4.50
伊賀保健所	120	672	257	1,049	6.05
尾鷲保健所	14	124	25	163	4.47
熊野保健所	14	146	22	182	4.69
全 県	1,057	6,224	1,963	9,244	5.05

※管内人口は、平成25年4月1日の人口を使用

保健所管内別手帳所持率

(人口1,000対)



(4) 自立支援医療費（精神通院医療）受給者証

表6 自立支援医療費（精神通院医療）受給者証所持者疾患別内訳

（平成25年3月末現在）

自立支援医療費(精神通院医療)受給者証交付件数内訳		人	%
1	症状を含む器質性精障害 F0	608	2.56
2	精神作用物質使用による精神及び行動の障害 F1	535	2.25
3	統合性失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 F2	6,730	28.35
4	気分障害 F3	9,472	39.90
5	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害 F4	2,261	9.52
6	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群 F5	99	0.42
7	成人の人格及び行動の障害 F6	147	0.62
8	精神遅滞 F7	376	1.58
9	心理的発達の障害 F8	860	3.62
10	小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害 F9	279	1.18
11	てんかん G40	1,649	6.95
12	その他の精神障害 F99	0	0
13	分類不明	723	3.05
合 計		23,739	100.00

表7 自立支援医療費（精神通院医療）受給者証所持状況

（平成25年3月末現在）

保健所名	項目	H24年度	管内人口	対千人あたり所持率
桑名保健所		8,580	588,925	14.56
鈴鹿保健所		3,313	247,784	13.37
津保健所		3,860	280,994	13.73
松阪保健所		2,297	214,780	10.69
伊勢保健所		2,347	247,944	9.46
伊賀保健所		2,454	173,305	14.16
尾鷲保健所		433	36,390	11.89
熊野保健所		455	38,737	11.74
全 県		23,739	1,828,859	12.98

※管内人口は平成25年4月1日現在

平成24年度版 三重県こころの健康センター所報

平成 25 年 9 月 発行

三重県こころの健康センター
(三重県立精神保健福祉センター)

〒514-8567 津市桜橋3丁目446-34
三重県津庁舎保健所棟2F
電話 059-223-5241

R100

この冊子は古紙配合率100%
白色度70%再生紙を使用しています。
大豆インクを使用しています。